

平成 28 年 9 月 13 日

【照会先】 保険局調査課

課長 山内 孝一郎 (内線 : 3291)

数理企画官 仲津留 隆 (内線 : 3293)

担当係 医療機関医療費係 (内線 : 3298)

電話 : 03-5253-1111 (代表)

03-3595-2579 (直通)

報道関係者 各位

## 「平成 27 年度 調剤医療費（電算処理分）の動向」を公表します

厚生労働省では、毎年、調剤医療費の動向及び薬剤の使用状況等を把握するために、電算処理分のレセプトを集計し、「調剤医療費（電算処理分）の動向」として公表しています。このたび、平成 27 年度の集計結果がまとまりましたので公表します。

### 【調査結果のポイント】

- 平成 27 年度の調剤医療費（電算処理分に限る。以下同様。）は 7 兆 8,192 億円（伸び率（対前年度同期比、以下同様。）+9.3%）であり、処方せん 1 枚当たり調剤医療費は 9,546 円（伸び率+7.3%）であった。  
その内訳は、技術料が 1 兆 8,283 億円（伸び率+3.4%）、薬剤料が 5 兆 9,783 億円（+11.3%）、特定保険医療材料料が 126 億円（+3.8%）であり、薬剤料のうち、後発医薬品が 8,502 億円（+18.2%）であった。【表 1、表 2】
- 処方せん 1 枚当たりの調剤医療費を年齢階級別にみると、年齢とともに高くなり、75 歳以上では 11,730 円と、0 歳以上 5 歳未満の 3,328 円の約 3.52 倍であった。【表 3】
- 後発医薬品割合は、平成 27 年度末で数量ベース（新指標）が 63.1%であり、年度平均でみると、数量ベース（新指標）が 60.1%（伸び幅+3.7%）、薬剤料ベースが 14.2%（+0.8%）、後発医薬品調剤率が 63.1%（+2.3%）であった。【表 4】
- 内服薬の処方せん 1 枚当たり薬剤料の伸び率は+9.8%となっており、この伸び率を「処方せん 1 枚当たり薬剤種類数の伸び率」、「1 種類当たり投薬日数の伸び率」、「1 種類 1 日当たり薬剤料の伸び率」に分解すると、各々▲0.8%、+1.9%、+8.6%であった。【表 5】
- 平成 27 年度の調剤医療費を処方せん発行元医療機関別にみると、医科では病院が 3 兆 2,954 億円、診療所が 4 兆 4,983 億円であり、平成 27 年度末の後発医薬品割合は、数量ベース（新指標）で、病院が 63.1%（伸び幅+4.7%）、診療所が 63.1%（+4.4%）であった。また制度別でみた場合、最も高かったのは公費の 67.9%（+5.0%）であった。【表 14、表 15】
- 平成 27 年度末の後発医薬品割合を、数量ベース（新指標）の算出対象となる医薬品について、薬効大分類別にみると、薬効大分類別の構成割合が最も大きい消化器官用薬は 76.3%、次いで大きい循環器官用薬は 63.6%であった。【表 16】



## 調剤医療費(電算処理分)の動向の概要 ～平成27年度版～

### 1. 調剤医療費の全数と電算処理分の比較

平成27年度の調剤医療費(電算処理分に限る。以下同様。)は7兆8,192億円(対前年度同期比(伸び率という。以下同様)+9.3%)で、処方せん1枚当たり調剤医療費は9,546円(+7.3%)であった。

なお、電算処理割合は、平成21年度以降、医療費ベース、処方せん枚数ベースともに99%に達しており、処方せん1枚当たり調剤医療費について、調剤レセプト全体と電算処理分を比較すると、その差は0.1%未満と小さい。

表1 調剤医療費総額、処方せん枚数及び処方せん1枚当たり調剤医療費

		実数							対前年度比(%)						
		平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	
全数	調剤医療費(億円)	58,695	60,822	65,601	66,431	70,380	71,987	78,746	3.6	7.9	1.3	5.9	2.3	9.4	
	処方せん枚数(万枚)	73,056	76,169	77,851	78,986	79,430	80,831	82,372	4.3	2.2	1.5	0.6	1.8	1.9	
	1枚当たり調剤医療費(円)	8,034	7,985	8,426	8,410	8,861	8,906	9,560	▲ 0.6	5.5	▲ 0.2	5.4	0.5	7.3	
電算 処理 分	調剤医療費(億円)	58,124	60,389	65,133	65,902	69,933	71,515	78,192	3.9	7.9	1.2	6.1	2.3	9.3	
	電算化率(%)	99.0	99.3	99.3	99.2	99.4	99.3	99.3	—	—	—	—	—	—	
	処方せん枚数(万枚)	72,345	75,636	77,289	78,452	78,958	80,359	81,912	4.5	2.2	1.5	0.6	1.8	1.9	
	電算化率(%)	99.0	99.3	99.3	99.3	99.4	99.4	99.4	—	—	—	—	—	—	
	1枚当たり調剤医療費(円)	8,034	7,984	8,427	8,400	8,857	8,899	9,546	▲ 0.6	5.5	▲ 0.3	5.4	0.5	7.3	
	電算処理分/全数	1.000	1.000	1.000	0.999	1.000	0.999	0.999	—	—	—	—	—	—	

## 2. 調剤医療費の内訳

調剤医療費の内訳は、技術料が1兆8,283億円(伸び率+3.4%)、薬剤料が5兆9,783億円(+11.3%)で、特定保険医療材料料が126億円(+3.8%)であった。

処方せん1枚当たり調剤医療費は9,546円(伸び率+7.3%)で、その内訳は、技術料が2,232円(+1.4%)、薬剤料が7,299円(+9.2%)で、特定保険医療材料料が15円(+1.8%)であった。

構成割合は技術料が23.4%、薬剤料が76.5%、特定保険医療材料料が0.2%となっていた。

表2-1 調剤医療費の内訳(総額)

	実数(億円)							対前年度比(%)						
	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
調剤医療費	58,124	60,389	65,133	65,902	69,933	71,515	78,192	3.9	7.9	1.2	6.1	2.3	9.3	
技術料	14,540	15,911	16,435	17,020	17,371	17,682	18,283	9.4	3.3	3.6	2.1	1.8	3.4	
調剤技術料	11,965	13,061	13,530	13,868	14,205	14,572	15,122	9.2	3.6	2.5	2.4	2.6	3.8	
調剤基本料	3,827	4,333	4,509	4,738	4,897	4,988	5,336	13.2	4.1	5.1	3.4	1.9	7.0	
調剤料	7,386	7,472	7,730	7,915	8,065	8,257	8,425	1.2	3.4	2.4	1.9	2.4	2.0	
加算料	752	1,256	1,291	1,215	1,243	1,327	1,361	66.9	2.8	▲5.9	2.3	6.7	2.6	
薬学管理料	2,576	2,850	2,905	3,152	3,166	3,110	3,161	10.7	1.9	8.5	0.4	▲1.8	1.6	
薬剤料	43,487	44,376	48,590	48,771	52,444	53,711	59,783	2.0	9.5	0.4	7.5	2.4	11.3	
内服薬薬剤料	36,841	37,372	40,881	40,729	43,755	44,460	49,762	1.4	9.4	▲0.4	7.4	1.6	11.9	
屯服薬他薬剤料	328	343	369	368	382	384	396	4.7	7.4	▲0.2	3.9	0.4	3.1	
注射薬薬剤料	1,159	1,293	1,555	1,719	1,959	2,208	2,461	11.5	20.3	10.5	14.0	12.7	11.5	
外用薬薬剤料	5,159	5,368	5,784	5,955	6,348	6,660	7,164	4.0	7.8	2.9	6.6	4.9	7.6	
(再掲)後発医薬品薬剤料	3,002	3,619	4,203	4,958	5,999	7,195	8,502	20.5	16.1	18.0	21.0	19.9	18.2	
特定保険医療材料料	96	102	108	112	118	122	126	5.9	6.1	1.0	5.4	3.6	3.8	

注1)「調剤医療費」とは、調剤報酬明細書に記録された「点数」に10を乗じたものである。

注2)「調剤基本料」には、基準調剤加算、後発医薬品調剤体制加算、夜間・休日等加算、時間外等の加算(調剤基本料に係る部分)、及び在宅患者調剤加算を含めている。

注3)「内服薬」とは、内用薬のうち、調剤報酬明細書に記録された剤形が「内服」もしくは「一包」である薬剤をいう。

注4)「屯服薬他」とは、内用薬のうち、調剤報酬明細書に記録された剤形が「屯服」「内滴」「浸煎」「湯」である薬剤をいう。

注5) 調剤医療費及び処方せん枚数(受付回数)の電算化率が99.0%を超えた平成21年度以降を公表の対象範囲としている。

表2-2 処方せん1枚当たり調剤医療費の内訳と構成割合

	実数(円)							対前年度比(%)						
	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
調剤医療費	8,034	7,984	8,427	8,400	8,857	8,899	9,546	▲0.6	5.5	▲0.3	5.4	0.5	7.3	
技術料	2,010	2,104	2,126	2,169	2,200	2,200	2,232	4.7	1.1	2.0	1.4	0.0	1.4	
構成割合(%)	25.0	26.3	25.2	25.8	24.8	24.7	23.4	—	—	—	—	—	—	
調剤技術料	1,654	1,727	1,751	1,768	1,799	1,813	1,846	4.4	1.4	1.0	1.8	0.8	1.8	
調剤基本料	529	573	583	604	620	621	651	8.3	1.8	3.5	2.7	0.1	5.0	
調剤料	1,021	988	1,000	1,009	1,021	1,028	1,029	▲3.2	1.2	0.9	1.2	0.6	0.1	
加算料	104	166	167	155	157	165	166	59.7	0.6	▲7.3	1.7	4.9	0.6	
薬学管理料	356	377	376	402	401	387	386	5.9	▲0.3	6.9	▲0.2	▲3.5	▲0.3	
薬剤料	6,011	5,867	6,287	6,217	6,642	6,684	7,299	▲2.4	7.2	▲1.1	6.8	0.6	9.2	
構成割合(%)	74.8	73.5	74.6	74.0	75.0	75.1	76.5	—	—	—	—	—	—	
内服薬薬剤料	5,092	4,941	5,289	5,192	5,542	5,533	6,075	▲3.0	7.0	▲1.8	6.7	▲0.2	9.8	
屯服薬他薬剤料	45	45	48	47	48	48	48	0.2	5.1	▲1.7	3.2	▲1.4	1.2	
注射薬薬剤料	160	171	201	219	248	275	300	6.7	17.8	8.9	13.2	10.7	9.4	
外用薬薬剤料	713	710	748	759	804	829	875	▲0.5	5.5	1.4	5.9	3.1	5.5	
(再掲)後発医薬品薬剤料	415	478	544	632	760	895	1,038	15.3	13.7	16.2	20.2	17.9	15.9	
特定保険医療材料料	13	13	14	14	15	15	15	1.3	3.8	1.8	4.7	1.8	1.8	
構成割合(%)	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	—	—	—	—	—	—	

### 3. 年齢階級別の状況

処方せん1枚当たり調剤医療費を年齢階級別にみると、年齢とともに高くなり、75歳以上では11,730円と、0歳以上5歳未満の3,328円の約3.52倍となっていた。

表3 年齢階級別処方せん1枚当たり調剤医療費

	実数(円)							対前年度比(%)						
	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	
総数	8,034	7,984	8,427	8,400	8,857	8,899	9,546	▲ 0.6	5.5	▲ 0.3	5.4	0.5	7.3	
0歳以上5歳未満	3,129	3,149	3,206	3,200	3,255	3,245	3,328	0.7	1.8	▲ 0.2	1.7	▲ 0.3	2.5	
5歳以上10歳未満	4,278	4,280	4,451	4,445	4,608	4,626	4,761	0.0	4.0	▲ 0.2	3.7	0.4	2.9	
10歳以上15歳未満	4,929	5,014	5,225	5,289	5,624	5,688	5,869	1.7	4.2	1.2	6.3	1.1	3.2	
15歳以上20歳未満	5,064	5,225	5,512	5,526	5,785	5,883	6,058	3.2	5.5	0.3	4.7	1.7	3.0	
20歳以上25歳未満	5,221	5,308	5,585	5,600	5,846	5,880	6,063	1.7	5.2	0.3	4.4	0.6	3.1	
25歳以上30歳未満	5,540	5,604	5,909	5,940	6,165	6,198	6,439	1.1	5.4	0.5	3.8	0.5	3.9	
30歳以上35歳未満	5,941	5,975	6,290	6,323	6,566	6,606	6,897	0.6	5.3	0.5	3.8	0.6	4.4	
35歳以上40歳未満	6,572	6,613	6,939	6,966	7,282	7,303	7,617	0.6	4.9	0.4	4.5	0.3	4.3	
40歳以上45歳未満	7,241	7,295	7,719	7,761	8,117	8,158	8,592	0.7	5.8	0.5	4.6	0.5	5.3	
45歳以上50歳未満	7,796	7,794	8,231	8,261	8,673	8,729	9,354	▲ 0.0	5.6	0.4	5.0	0.7	7.2	
50歳以上55歳未満	8,320	8,272	8,704	8,668	9,053	9,069	9,888	▲ 0.6	5.2	▲ 0.4	4.4	0.2	9.0	
55歳以上60歳未満	8,809	8,720	9,180	9,119	9,526	9,530	10,434	▲ 1.0	5.3	▲ 0.7	4.5	0.1	9.5	
60歳以上65歳未満	9,151	9,056	9,537	9,452	9,880	9,874	10,775	▲ 1.0	5.3	▲ 0.9	4.5	▲ 0.1	9.1	
65歳以上70歳未満	9,326	9,254	9,767	9,708	10,182	10,178	11,124	▲ 0.8	5.5	▲ 0.6	4.9	▲ 0.0	9.3	
70歳以上75歳未満	9,611	9,495	9,981	9,870	10,366	10,434	11,409	▲ 1.2	5.1	▲ 1.1	5.0	0.7	9.3	
75歳以上	10,041	10,008	10,541	10,427	10,978	11,010	11,730	▲ 0.3	5.3	▲ 1.1	5.3	0.3	6.5	

#### 4. 後発医薬品割合の推移及び後発医薬品割合(数量ベース)階級別保険薬局数構成割合

平成25年4月に公表された「後発医薬品のさらなる使用促進のためのロードマップ」に基づく新指標では、平成27年4月で58.8%であったものが、平成28年3月には63.1%まで増加した。

年度毎の平均でみると、平成27年度後発医薬品割合は数量ベース(新指標)が60.1%(伸び幅+3.7%)、数量ベース(旧指標)が40.2%(伸び幅+3.2%)、薬剤料ベースが14.2%(+0.8%)、後発医薬品調剤率が63.1%(+2.3%)であった。なお、それぞれの最高値は、数量ベース(新指標)が63.1%(平成28年3月)、数量ベース(旧指標)が42.5%(平成28年3月)、薬剤料ベースが14.8%(平成28年3月)、後発医薬品調剤率が65.5%(平成28年2月)であった。

後発医薬品割合の階級別に保険薬局数の構成割合をみると、数量ベース(新指標)で後発医薬品割合が55%以上の薬局数は平成27年4月で65.0%であったところ、平成28年3月では72.6%となっており、うち65%以上の薬局数は平成27年4月で39.3%であったところ、平成28年3月では54.2%となっていた。

表4-1 平成27年度における後発医薬品割合

(単位:%)

	平成27年度											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
数量ベース(新指標)	58.8	58.8	59.1	58.2	58.7	59.2	59.7	60.3	60.9	61.5	62.4	63.1
数量ベース(旧指標)	38.5	38.6	38.8	39.3	39.7	40.0	40.3	40.6	40.9	41.4	42.0	42.5
薬剤料ベース	14.0	14.0	14.0	14.2	14.3	14.2	14.2	14.1	14.1	14.2	14.4	14.8
後発医薬品調剤率	62.0	61.4	61.2	61.5	61.7	62.8	63.2	63.8	64.1	64.7	65.5	65.0

表4-2 年度毎にみた後発医薬品割合

(単位:%)

	実数							対前年度差						
	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
数量ベース(新指標)	-	-	-	-	47.9	56.4	60.1	・	・	・	・	8.4	3.7	
数量ベース(旧指標)	18.9	22.4	23.4	28.7	31.1	37.0	40.2	3.5	1.0	5.2	2.4	5.9	3.2	
薬剤料ベース	6.9	8.2	8.6	10.2	11.4	13.4	14.2	1.3	0.5	1.5	1.3	2.0	0.8	
後発医薬品調剤率	44.0	47.7	48.6	52.6	55.0	60.8	63.1	3.7	0.9	4.1	2.3	5.8	2.3	

注1) 「数量」とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えた数量をいう。

注2) 「新指標」は、〔後発医薬品の数量〕/〔後発医薬品のある先発医薬品の数量〕+〔後発医薬品の数量〕で算出している。その際、新たに後発医薬品が販売される先発医薬品は、平成26年度より、薬価収載の翌月(平成25年度は薬価収載月(6月と12月))以降、医療課長通知\*に基づき算出式の分母に算入することとしている。そのため、算出式の分母となる医薬品数量が一時に増え、新指標による後発医薬品割合が低くなることもある。

\*厚生労働省ホームページ「使用薬剤の薬価(薬価基準)に収載されている医薬品について」中の「5. その他(各先発医薬品の後発医薬品の有無に関する情報)」を参照。

注3) 「後発医薬品調剤率」とは、全処方せん受付回数に対する後発医薬品を調剤した処方せん受付回数の割合をいう。

注4) 旧指標とは、平成24年度までの後発医薬品割合(数量ベース)の算出方法をいう。

注5) 旧指標による算出では、平成22年4月以降は、経腸成分栄養剤及び特殊ミルク製剤を除外し、平成24年4月以降は、経腸成分栄養剤、特殊ミルク製剤、生薬及び漢方製剤を除外している。

注6) 「・」は算出できないものを示す。

表4-3 後発医薬品割合(数量ベース)階級別保険薬局数構成割合

(単位:%)

	平成26年度			平成27年度											
	4月	3月	4月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
割	総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	10%未満	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2
	10%以上 20%未満	2.4	1.6	1.5	1.5	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.3	1.2	1.1	1.1	1.1
	20%以上 30%未満	7.3	4.9	4.6	4.7	4.4	4.6	4.5	4.3	4.1	4.0	3.7	3.6	3.4	3.2
	30%以上 40%未満	12.2	9.3	9.1	8.9	8.7	9.2	8.9	8.8	8.4	8.1	7.6	7.3	6.9	6.7
	40%以上 50%未満	15.6	12.6	12.4	12.4	12.3	12.6	12.4	12.2	12.0	11.7	11.3	10.9	10.5	10.2
	50%以上 55%未満	9.1	7.0	7.0	6.8	6.9	7.3	7.0	6.7	6.6	6.4	6.5	6.2	6.1	5.9
	55%以上 60%未満	13.0	11.3	11.1	11.6	11.5	12.7	12.4	11.9	11.1	10.5	9.4	9.1	7.9	7.5
	60%以上 65%未満	13.8	14.5	14.7	14.4	14.3	14.4	14.2	14.0	14.1	14.2	14.4	14.5	12.8	10.9
	65%以上 70%未満	11.5	14.8	15.0	15.4	15.6	16.1	16.3	16.0	16.0	15.9	15.5	15.6	16.3	17.2
	70%以上 80%未満	11.7	18.7	19.1	18.9	19.5	17.1	18.0	19.4	20.5	21.7	23.3	24.6	27.0	28.0
80%以上 90%未満	2.5	4.2	4.5	4.5	4.5	3.9	4.2	4.5	4.9	5.4	5.9	6.1	7.0	8.1	
90%以上	0.4	0.6	0.6	0.6	0.6	0.5	0.5	0.6	0.6	0.7	0.7	0.7	0.8	0.9	
合	55%未満	47.0	35.7	35.0	34.6	34.0	35.4	34.4	33.6	32.8	31.7	30.7	29.4	28.1	27.4
	55%以上	53.0	64.3	65.0	65.4	66.0	64.6	65.6	66.4	67.2	68.3	69.3	70.6	71.9	72.6
	55%以上 65%未満	26.9	25.9	25.8	26.0	25.8	27.1	26.6	25.9	25.1	24.7	23.9	23.6	20.7	18.5
	65%以上	26.2	38.4	39.3	39.3	40.2	37.5	39.0	40.5	42.0	43.6	45.4	47.0	51.2	54.2

注1) 「数量」とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えた数量をいう。

注2) 新指標は、〔後発医薬品の数量〕/〔後発医薬品のある先発医薬品の数量〕+〔後発医薬品の数量〕で算出している。

## 5. 処方せん1枚当たり薬剤料の3要素分解

内服薬の処方せん1枚当たり薬剤料6,068円を、処方せん1枚当たり薬剤種類数、1種類当たり投薬日数、1種類1日当たり薬剤料に分解すると、各々2.86、22.8日、93円となっていた。

また、内服薬の処方せん1枚当たり薬剤料の伸び率+9.8%を、処方せん1枚当たり薬剤種類数の伸び率、1種類当たり投薬日数の伸び率、1種類1日当たり薬剤料の伸び率に分解すると、各々▲0.8%、+1.9%、+8.6%となっていた。

表5 処方せん1枚当たり薬剤料の3要素分解

	実数							対前年度比(%)					
	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度
内服薬 処方せん1枚当たり薬剤料(円)	5,087	4,936	5,283	5,180	5,528	5,526	6,068	▲ 3.0	7.0	▲ 1.9	6.7	▲ 0.0	9.8
処方せん1枚当たり薬剤種類数	2.87	2.90	2.90	2.90	2.90	2.88	2.86	1.2	0.0	▲ 0.2	▲ 0.0	▲ 0.5	▲ 0.8
1種類当たり投薬日数(日)	19.7	19.9	20.5	21.1	21.8	22.3	22.8	0.9	3.0	3.1	3.5	2.3	1.9
1種類1日当たり薬剤料(円)	90	86	89	85	87	86	93	▲ 5.0	3.9	▲ 4.7	3.2	▲ 1.9	8.6

## 6-1. 薬効分類別の状況(1)(薬剤料総額)

内服薬の薬剤料(総額)を薬効大分類別にみると、循環器官用薬が1兆1,011億円と最も高く、次いで中枢神経系用薬が7,937億円となっている。伸び率は、化学療法剤が+160.0%と最も高く、抗生物質製剤が▲0.9%と最も低い。

後発医薬品については、循環器官用薬が2,170億円と最も高く、次いで消化器官用薬が1,307億円となっている。伸び率は、化学療法剤が+35.5%と最も高く、ビタミン剤が▲0.9%と最も低い。

表6-1 内服薬 薬効分類別 薬剤料

	総額(億円)			後発医薬品(億円)(再掲)			対前年度比(%)		後発医薬品(再掲)	
	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 26年度	平成 27年度
<b>内服薬 総数</b>	43,650	44,408	49,707	5,364	6,378	7,568	1.7	11.9	18.9	18.7
11 中枢神経系用薬	7,066	7,415	7,937	587	710	826	4.9	7.0	21.0	16.3
112 催眠鎮静剤、抗不安剤	660	594	592	100	124	139	▲10.0	▲0.3	23.2	12.9
114 解熱鎮痛消炎剤	866	935	989	75	96	106	8.0	5.7	28.1	10.6
116 抗パーキンソン剤	598	640	684	20	25	28	7.0	6.9	23.6	13.5
117 精神神経用剤	2,367	2,460	2,607	157	179	211	3.9	6.0	14.3	17.6
119 その他中枢神経系用薬	2,076	2,219	2,422	208	252	303	6.9	9.1	21.4	19.9
21 循環器官用薬	11,412	10,825	11,011	1,396	1,761	2,170	▲5.1	1.7	26.1	23.3
212 不整脈用剤	562	519	511	73	88	104	▲7.7	▲1.5	20.9	18.3
214 血圧降下剤	5,393	5,051	4,953	213	424	661	▲6.3	▲1.9	99.1	56.0
217 血管拡張剤	1,525	1,324	1,298	550	583	648	▲13.2	▲1.9	6.0	11.3
218 高脂血症用剤	2,815	2,697	2,858	444	535	610	▲4.2	6.0	20.5	14.1
22 呼吸器官用薬	497	468	483	103	139	160	▲5.9	3.1	35.2	14.6
23 消化器官用薬	4,099	3,972	4,150	1,028	1,176	1,307	▲3.1	4.5	14.4	11.2
232 消化性潰瘍用剤	2,930	2,751	2,872	725	822	916	▲6.1	4.4	13.4	11.4
239 その他の消化器官用薬	579	579	586	45	66	86	▲0.1	1.2	48.3	30.9
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	1,231	1,283	1,356	93	96	128	4.2	5.7	3.6	33.2
31 ビタミン剤	842	878	933	318	306	303	4.3	6.2	▲3.9	▲0.9
32 滋養強壮薬	504	502	513	23	28	32	▲0.4	2.2	18.2	15.2
325 蛋白アミノ酸製剤	442	434	439	13	14	16	▲1.8	1.3	6.6	13.5
33 血液・体液用薬	3,096	3,327	3,548	401	484	653	7.5	6.7	20.6	34.9
39 その他の代謝性医薬品	5,616	5,844	6,365	514	587	693	4.1	8.9	14.3	18.0
396 糖尿病用剤	2,682	2,817	3,133	222	222	268	5.0	11.2	▲0.0	20.6
399 他に分類されない代謝性医薬品	2,315	2,381	2,555	192	253	315	2.9	7.3	32.0	24.5
42 腫瘍用薬	2,223	2,445	2,821	211	223	272	10.0	15.4	5.6	21.8
422 代謝拮抗剤	477	431	425	4	5	5	▲9.7	▲1.3	50.3	▲3.4
429 その他の腫瘍用薬	1,679	1,948	2,332	206	216	266	16.0	19.7	4.9	23.1
44 アレルギー用薬	2,788	2,744	2,871	398	491	562	▲1.6	4.6	23.4	14.6
52 漢方製剤	985	1,046	1,106	-	-	-	6.2	5.7	-	-
61 抗生物質製剤	970	896	888	138	183	212	▲7.6	▲0.9	32.7	15.7
613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの	439	415	415	50	73	85	▲5.4	0.0	43.8	16.9
614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	408	347	351	79	101	116	▲14.9	1.2	28.0	15.2
62 化学療法剤	1,470	1,827	4,751	109	139	189	24.3	160.0	28.0	35.5
624 合成抗菌剤	437	420	404	26	34	80	▲3.9	▲3.8	28.7	134.7
625 抗ウイルス剤	785	1,185	4,139	17	43	50	51.0	249.1	154.0	15.3

注1) 表示していない項目(薬効)があるので、内訳を足し上げても総数と一致しない。

注2) 「-」は0を意味する。



## 6-2. 薬効分類別の状況(2)(処方せん1枚当たり薬剤料)

内服薬の処方せん1枚当たり薬剤料を薬効大分類別にみると、循環器官用薬が1,344円と最も高く、次いで中枢神経系用薬が969円となっている。伸び率は、化学療法剤が+155.1%と最も高く、抗生物質製剤が▲2.7%と最も低い。

表6-2 内服薬 薬効分類別処方せん1枚当たり薬剤料

	実数(円)							対前年度比(%)						
	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	
<b>内服薬 総数</b>	5,087	4,936	5,283	5,180	5,528	5,526	6,068	▲ 3.0	7.0	▲ 1.9	6.7	▲ 0.0	9.8	
11 中枢神経系用薬	658	685	792	815	895	923	969	4.1	15.6	2.9	9.8	3.1	5.0	
112 催眠鎮静剤、抗不安剤	89	85	88	83	84	74	72	▲ 4.1	3.1	▲ 5.6	0.5	▲ 11.6	▲ 2.2	
114 解熱鎮痛消炎剤	91	89	97	99	110	116	121	▲ 3.1	9.8	1.9	10.6	6.2	3.7	
116 抗パーキンソン剤	66	66	70	71	76	80	84	0.6	6.2	0.8	7.0	5.1	4.8	
117 精神神経用剤	240	248	276	281	300	306	318	3.3	11.1	1.8	6.9	2.1	4.0	
119 その他中枢神経系用薬	136	159	215	227	263	276	296	17.4	35.2	5.3	15.9	5.0	7.1	
21 循環器官用薬	1,497	1,407	1,471	1,382	1,445	1,347	1,344	▲ 6.0	4.5	▲ 6.0	4.6	▲ 6.8	▲ 0.2	
212 不整脈用剤	86	77	78	71	71	65	62	▲ 10.1	0.9	▲ 9.2	0.9	▲ 9.3	▲ 3.4	
214 血圧降下剤	677	649	688	654	683	629	605	▲ 4.2	6.0	▲ 4.9	4.4	▲ 8.0	▲ 3.8	
217 血管拡張剤	282	236	226	195	193	165	159	▲ 16.2	▲ 4.1	▲ 13.8	▲ 1.1	▲ 14.7	▲ 3.8	
218 高脂血症用剤	352	340	358	335	357	336	349	▲ 3.5	5.4	▲ 6.5	6.5	▲ 5.9	4.0	
22 呼吸器官用薬	73	69	70	64	63	58	59	▲ 4.9	1.3	▲ 8.4	▲ 2.0	▲ 7.5	1.2	
23 消化器官用薬	530	491	517	485	519	494	507	▲ 7.3	5.4	▲ 6.4	7.2	▲ 4.8	2.5	
232 消化性潰瘍用剤	395	360	379	346	371	342	351	▲ 8.8	5.2	▲ 8.8	7.3	▲ 7.7	2.4	
239 その他の消化器官用薬	65	65	71	70	73	72	72	▲ 0.6	8.7	▲ 0.5	4.4	▲ 1.8	▲ 0.7	
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	148	142	149	147	156	160	166	▲ 3.8	5.0	▲ 1.3	5.9	2.4	3.7	
31 ビタミン剤	109	98	100	98	107	109	114	▲ 9.7	1.4	▲ 1.8	9.0	2.5	4.2	
32 滋養強壮薬	69	66	65	62	64	62	63	▲ 4.3	▲ 0.7	▲ 4.7	2.6	▲ 2.2	0.3	
325 蛋白アミノ酸製剤	60	58	57	55	56	54	54	▲ 4.1	▲ 0.9	▲ 4.6	2.3	▲ 3.5	▲ 0.6	
33 血液・体液用薬	316	309	342	350	392	414	433	▲ 2.2	10.8	2.3	12.0	5.6	4.6	
39 その他の代謝性医薬品	537	532	599	630	711	727	777	▲ 0.9	12.6	5.2	12.8	2.2	6.9	
396 糖尿病用剤	205	210	261	287	340	351	382	2.2	24.3	10.1	18.4	3.2	9.1	
399 他に分類されない代謝性医薬品	247	246	266	271	293	296	312	▲ 0.5	8.3	1.6	8.3	1.1	5.3	
42 腫瘍用薬	260	255	264	264	281	304	344	▲ 2.1	3.7	▲ 0.2	6.7	8.1	13.2	
422 代謝拮抗剤	74	69	65	61	60	54	52	▲ 7.1	▲ 6.5	▲ 5.3	▲ 1.0	▲ 11.3	▲ 3.2	
429 その他の腫瘍用薬	178	178	191	194	213	242	285	0.1	7.7	1.6	9.4	14.0	17.5	
44 アレルギー用薬	353	356	372	357	353	341	351	0.9	4.6	▲ 4.3	▲ 1.0	▲ 3.3	2.7	
52 漢方製剤	106	107	111	118	125	130	135	0.6	4.3	6.1	5.5	4.4	3.7	
61 抗生物質製剤	146	141	140	125	123	111	108	▲ 3.4	▲ 0.3	▲ 10.9	▲ 1.6	▲ 9.2	▲ 2.7	
613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの	68	65	63	57	56	52	51	▲ 4.5	▲ 2.8	▲ 9.8	▲ 2.7	▲ 7.0	▲ 1.9	
614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	67	65	65	56	52	43	43	▲ 3.2	0.8	▲ 14.1	▲ 7.7	▲ 16.4	▲ 0.8	
62 化学療法剤	195	181	187	180	186	227	580	▲ 6.9	3.1	▲ 3.6	3.2	22.2	155.1	
624 合成抗菌剤	52	52	57	57	55	52	49	0.1	9.5	0.0	▲ 2.3	▲ 5.6	▲ 5.7	
625 抗ウイルス剤	96	91	94	92	99	148	505	▲ 5.1	3.6	▲ 2.5	8.0	48.4	242.5	

注)表示していない項目(薬効)があるので、内訳を足し上げても総数と一致しない。

## 7. 薬効分類別の状況(3)(処方せん1枚当たり薬剤種類数)

内服薬の処方せん1枚当たり薬剤種類数を薬効大分類別にみると、循環器官用薬が0.61と最も多く、次いで消化器官用薬が0.47となっている。伸び率は、漢方製剤が+3.1%で最も高く、循環器官用薬が▲1.5%で最も低い。

表7 内服薬 薬効分類別処方せん1枚当たり薬剤種類数

	実数							対前年度比(%)					
	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度
内服薬 総数	2.87	2.90	2.90	2.90	2.90	2.88	2.86	1.2	0.0	▲0.2	▲0.0	▲0.5	▲0.8
11 中枢神経系用薬	0.45	0.45	0.46	0.46	0.47	0.46	0.46	▲0.5	1.9	▲0.1	1.5	▲1.0	▲0.9
112 催眠鎮静剤、抗不安剤	0.14	0.14	0.14	0.13	0.13	0.13	0.13	▲2.1	▲0.5	▲1.8	0.1	▲3.8	▲3.3
114 解熱鎮痛消炎剤	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.11	0.11	▲1.0	1.1	0.5	1.0	0.5	▲0.0
116 抗パーキンソン剤	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	▲3.6	▲1.0	▲2.0	0.5	▲3.2	▲3.0
117 精神神経剤	0.13	0.13	0.13	0.12	0.13	0.12	0.12	▲1.6	▲0.2	▲1.8	0.7	▲1.9	▲1.7
119 その他中枢神経系用薬	0.01	0.02	0.02	0.03	0.04	0.04	0.04	23.7	54.5	22.6	17.0	12.3	9.8
21 循環器官用薬	0.62	0.62	0.62	0.62	0.62	0.61	0.61	▲0.4	▲0.1	▲0.3	1.2	▲1.4	▲1.5
212 不整脈用剤	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	▲1.3	1.8	1.2	3.7	1.8	1.4
214 血圧降下剤	0.21	0.21	0.22	0.22	0.22	0.21	0.21	0.7	1.5	0.1	0.8	▲2.5	▲2.3
217 血管拡張剤	0.17	0.16	0.16	0.15	0.15	0.15	0.14	▲3.3	▲4.5	▲2.5	▲0.7	▲2.4	▲2.3
218 高脂血症用剤	0.12	0.12	0.12	0.13	0.13	0.14	0.14	3.8	2.6	2.7	4.5	1.5	1.2
22 呼吸器官用薬	0.25	0.27	0.27	0.27	0.26	0.26	0.26	6.6	0.1	▲1.3	▲3.0	▲0.3	1.5
23 消化器官用薬	0.49	0.49	0.48	0.49	0.48	0.48	0.47	▲0.5	▲0.8	0.8	▲0.7	▲1.7	▲1.8
232 消化性潰瘍用剤	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.24	0.24	▲1.4	0.0	▲0.4	0.2	▲2.0	▲2.0
239 その他の消化器官用薬	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.8	▲1.3	4.3	▲2.5	▲2.6	▲2.4
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.3	1.7	2.4	1.9	2.2	1.5
31 ビタミン剤	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	▲1.1	0.1	▲5.5	0.6	▲0.6	▲0.9
32 滋養強壮薬	0.03	0.03	0.02	0.02	0.02	0.02	0.03	▲0.7	▲1.2	▲1.7	0.9	1.6	1.0
325 蛋白アミノ酸製剤	0.00	0.01	0.00	0.01	0.01	0.01	0.01	3.2	▲3.1	3.8	3.7	1.1	1.2
33 血液・体液用薬	0.13	0.13	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	1.8	3.5	0.5	1.7	▲0.1	▲0.5
39 その他の代謝性医薬品	0.21	0.22	0.21	0.22	0.23	0.23	0.23	3.5	▲3.2	1.5	3.6	2.2	▲0.6
396 糖尿病用剤	0.09	0.09	0.10	0.10	0.11	0.11	0.12	8.7	3.4	4.9	7.1	5.5	1.5
399 他に分類されない代謝性医薬品	0.05	0.05	0.05	0.06	0.06	0.05	0.05	2.3	2.9	0.9	0.9	▲1.8	▲1.4
42 腫瘍用薬	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	▲1.4	▲3.1	▲2.0	1.2	1.3	1.4
422 代謝拮抗剤	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	▲6.0	▲12.2	▲6.1	▲2.2	▲4.5	▲4.1
429 その他の腫瘍用薬	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2.0	2.6	0.4	3.1	4.6	4.4
44 アレルギー用薬	0.20	0.21	0.21	0.21	0.20	0.20	0.20	6.1	▲0.7	▲0.3	▲3.5	1.1	▲1.1
52 漢方製剤	0.06	0.06	0.07	0.07	0.07	0.08	0.08	4.1	3.6	7.4	3.5	3.6	3.1
61 抗生物質製剤	0.12	0.13	0.13	0.12	0.12	0.11	0.11	3.5	▲2.2	▲4.0	▲4.0	▲2.0	▲0.8
613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの	0.07	0.07	0.07	0.07	0.07	0.07	0.07	2.4	▲4.3	▲2.9	▲2.0	▲0.8	▲1.2
614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	0.05	0.05	0.05	0.05	0.04	0.04	0.04	5.1	▲0.1	▲6.3	▲7.3	▲4.3	0.9
62 化学療法剤	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	▲5.6	4.6	1.1	▲2.2	0.2	1.6
624 合成抗菌剤	0.02	0.02	0.02	0.03	0.02	0.02	0.02	9.2	6.2	6.4	▲3.8	▲1.3	3.0
625 抗ウイルス剤	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	▲31.3	7.1	▲11.8	0.1	8.2	3.3

注)表示していない項目(薬効)があるので、内訳を足し上げても総数と一致しない。

## 8. 薬効分類別の状況(4)(1種類当たり投薬日数)

内服薬の1種類当たり投薬日数を薬効大分類別にみると、最も長いのは腫瘍用薬の39.5日であり、最も短いのは抗生物質製剤の6.4日である。伸び率は、その他の代謝性医薬品が+4.0%で最も高く、呼吸器官用薬が+0.9%で最も低い。

表8 内服薬 薬効分類別1種類当たり投薬日数

	実数(日)							対前年度比(%)						
	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	
内服薬 総数	19.7	19.9	20.5	21.1	21.8	22.3	22.8	0.9	3.0	3.1	3.5	2.3	1.9	
11 中枢神経系用薬	18.9	19.1	19.6	20.3	20.8	21.4	21.7	1.6	2.3	3.4	2.7	2.6	1.8	
112 催眠鎮静剤、抗不安剤	20.4	20.9	21.5	22.1	22.5	23.0	23.4	2.6	2.9	2.5	2.0	2.2	1.8	
114 解熱鎮痛消炎剤	13.3	13.5	13.8	14.3	14.8	15.3	15.6	1.7	2.1	3.5	4.1	3.3	2.0	
116 抗パーキンソン剤	23.8	24.4	24.9	25.4	25.7	26.5	27.2	2.5	1.8	1.9	1.4	3.1	2.4	
117 精神神経剤	21.4	21.7	22.3	22.9	23.3	23.8	24.2	1.6	2.7	2.4	1.9	2.0	1.7	
119 その他中枢神経系用薬	23.4	22.2	21.0	23.0	23.8	24.5	24.7	▲ 5.3	▲ 5.4	9.9	3.4	2.9	1.1	
21 循環器官用薬	27.3	27.9	28.6	29.4	30.1	30.8	31.4	2.1	2.5	3.0	2.4	2.2	2.2	
212 不整脈用剤	28.1	28.6	29.1	30.1	30.8	31.5	32.2	2.0	1.8	3.2	2.4	2.2	2.1	
214 血圧降下剤	28.0	28.6	29.4	30.3	31.1	31.7	32.5	2.1	2.8	3.1	2.6	2.2	2.2	
217 血管拡張剤	27.5	28.1	28.7	29.5	30.2	30.9	31.5	2.3	2.3	2.7	2.4	2.1	2.1	
218 高脂血症用剤	28.8	29.4	30.3	31.2	31.9	32.6	33.4	2.2	2.9	3.1	2.2	2.2	2.3	
22 呼吸器官用薬	7.9	7.8	7.9	8.0	8.2	8.3	8.3	▲ 1.6	0.7	1.7	2.1	1.3	0.9	
23 消化器官用薬	19.8	20.0	20.7	21.1	21.9	22.5	22.9	1.1	3.5	1.5	4.0	2.6	1.8	
232 消化性潰瘍用剤	21.2	21.7	22.3	22.9	23.6	24.2	24.6	2.1	2.8	2.6	3.2	2.5	1.6	
239 その他の消化器官用薬	18.5	18.6	19.5	19.2	20.3	21.0	21.5	0.9	4.6	▲ 1.3	5.6	3.5	2.1	
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	28.0	28.7	29.4	30.1	31.1	31.7	32.5	2.3	2.6	2.3	3.3	1.8	2.6	
31 ビタミン剤	23.0	23.6	24.0	24.9	25.7	26.4	27.0	2.4	1.8	3.8	3.0	2.6	2.5	
32 滋養強壮薬	23.1	23.5	23.9	24.4	24.8	25.4	25.9	1.4	2.1	1.7	1.9	2.5	2.1	
325 蛋白アミノ酸製剤	19.3	19.5	19.9	20.0	20.2	20.5	20.7	0.8	2.1	0.9	0.9	1.4	0.7	
33 血液・体液用薬	24.9	25.1	25.2	25.8	26.4	26.7	27.0	0.6	0.5	2.5	2.2	1.2	1.0	
39 その他の代謝性医薬品	21.7	21.9	23.8	24.8	25.7	26.3	27.3	0.5	8.7	4.4	3.6	2.3	4.0	
396 糖尿病用剤	29.0	28.3	30.1	31.1	31.8	31.9	32.8	▲ 2.5	6.4	3.4	2.2	0.4	2.8	
399 他に分類されない代謝性医薬品	14.7	14.7	14.7	14.6	14.7	14.9	15.3	▲ 0.0	▲ 0.3	▲ 0.8	0.5	1.9	2.5	
42 腫瘍用薬	33.5	34.4	36.4	37.5	38.5	38.8	39.5	2.6	5.7	3.0	2.6	0.8	2.0	
422 代謝拮抗剤	20.1	19.4	20.0	20.1	20.0	19.9	20.1	▲ 3.3	3.3	0.2	▲ 0.3	▲ 0.2	0.7	
429 その他の腫瘍用薬	43.4	44.5	45.9	47.0	47.9	47.6	47.8	2.4	3.1	2.4	2.1	▲ 0.8	0.6	
44 アレルギー用薬	13.7	14.0	14.4	15.1	15.6	16.2	16.7	2.3	2.8	4.9	3.2	3.7	2.9	
52 漢方製剤	18.4	18.8	19.1	19.7	20.2	20.5	20.8	2.0	1.8	3.0	2.7	1.5	1.1	
61 抗生物質製剤	5.8	5.8	5.9	6.1	6.2	6.3	6.4	0.8	1.7	2.5	2.9	1.6	1.1	
613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの	4.4	4.5	4.5	4.6	4.6	4.7	4.8	1.3	1.3	1.2	1.4	1.0	1.9	
614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	7.1	7.1	7.2	7.5	7.8	8.0	8.0	▲ 0.3	0.8	4.0	4.7	2.6	0.2	
62 化学療法剤	9.3	9.5	9.4	9.5	9.9	10.1	10.2	2.5	▲ 1.2	1.0	3.9	2.0	1.0	
624 合成抗菌剤	5.3	5.2	5.2	5.2	5.3	5.3	5.4	▲ 1.0	0.2	▲ 0.4	1.4	0.8	0.6	
625 抗ウイルス剤	7.4	9.0	9.1	10.1	10.6	11.0	12.0	22.8	0.3	11.5	5.2	4.0	8.5	

注)表示していない項目(薬効)がある。

## 9. 薬効分類別の状況(5)(1種類1日当たり薬剤料)

内服薬の1種類1日当たり薬剤料を薬効大分類別にみると、最も高いのは腫瘍用薬の1,501円であり、最も低いのは呼吸器官用薬の27円である。

伸び率は、化学療法剤が+148.5%で最も高く、抗生物質製剤が▲3.0%で最も低い。

表9 内服薬 薬効分類別1種類1日当たり薬剤料

	実数(円)							対前年度比(%)						
	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	
内服薬 総数	90	86	89	85	87	86	93	▲ 5.0	3.9	▲ 4.7	3.2	▲ 1.9	8.6	
11 中枢神経系用薬	77	79	88	88	92	94	97	3.0	10.8	▲ 0.4	5.3	1.6	4.0	
112 催眠鎮静剤、抗不安剤	31	30	30	28	28	25	25	▲ 4.6	0.7	▲ 6.2	▲ 1.5	▲ 10.0	▲ 0.5	
114 解熱鎮痛消炎剤	67	64	68	67	71	72	73	▲ 3.7	6.3	▲ 2.0	5.1	2.2	1.8	
116 抗パーキンソン剤	148	151	159	161	169	178	187	1.8	5.3	0.9	4.9	5.4	5.5	
117 精神神経用剤	87	90	97	99	103	105	109	3.4	8.5	1.2	4.1	2.0	3.9	
119 その他中枢神経系用薬	448	449	415	325	311	283	273	0.2	▲ 7.5	▲ 21.8	▲ 4.1	▲ 9.1	▲ 3.5	
21 循環器官用薬	88	82	83	76	77	71	71	▲ 7.6	2.0	▲ 8.4	0.9	▲ 7.5	▲ 0.9	
212 不整脈用剤	110	98	96	83	79	69	64	▲ 10.7	▲ 2.6	▲ 13.1	▲ 5.0	▲ 12.8	▲ 6.7	
214 血圧降下剤	115	107	109	100	101	93	90	▲ 6.8	1.6	▲ 7.8	0.9	▲ 7.7	▲ 3.6	
217 血管拡張剤	61	52	51	44	43	36	35	▲ 15.4	▲ 1.8	▲ 13.9	▲ 2.7	▲ 14.4	▲ 3.6	
218 高脂血症用剤	104	95	95	84	83	76	76	▲ 8.9	▲ 0.1	▲ 11.7	▲ 0.4	▲ 9.3	0.4	
22 呼吸器官用薬	36	33	33	30	30	27	27	▲ 9.3	0.4	▲ 8.7	▲ 1.0	▲ 8.4	▲ 1.2	
23 消化器官用薬	54	50	52	47	49	46	47	▲ 7.9	2.6	▲ 8.6	3.7	▲ 5.6	2.5	
232 消化性潰瘍用剤	73	66	68	61	63	58	59	▲ 9.4	2.3	▲ 10.7	3.8	▲ 8.1	2.8	
239 その他の消化器官用薬	89	87	92	89	90	88	87	▲ 2.2	5.2	▲ 3.3	1.4	▲ 2.7	▲ 0.4	
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	150	140	141	133	134	132	131	▲ 6.2	0.5	▲ 5.7	0.6	▲ 1.5	▲ 0.5	
31 ビタミン剤	45	40	40	40	42	42	43	▲ 10.9	▲ 0.5	0.0	5.1	0.4	2.6	
32 滋養強壮薬	118	112	110	105	105	98	96	▲ 4.9	▲ 1.5	▲ 4.7	▲ 0.2	▲ 6.0	▲ 2.8	
325 蛋白アミノ酸製剤	629	580	581	529	518	487	475	▲ 7.8	0.2	▲ 8.8	▲ 2.2	▲ 6.0	▲ 2.4	
33 血液・体液用薬	95	91	97	97	104	109	113	▲ 4.4	6.6	▲ 0.7	7.8	4.4	4.1	
39 その他の代謝性医薬品	115	110	118	117	123	120	124	▲ 4.8	7.1	▲ 0.8	5.1	▲ 2.2	3.4	
396 糖尿病用剤	83	80	90	91	99	96	101	▲ 3.5	13.0	1.5	8.2	▲ 2.5	4.5	
399 他に分類されない代謝性医薬品	322	313	331	336	358	362	377	▲ 2.7	5.6	1.5	6.7	1.0	4.2	
42 腫瘍用薬	1,300	1,258	1,274	1,259	1,295	1,370	1,501	▲ 3.2	1.2	▲ 1.2	2.8	5.8	9.5	
422 代謝拮抗剤	1,651	1,688	1,741	1,753	1,779	1,656	1,660	2.2	3.2	0.7	1.5	▲ 6.9	0.2	
429 その他の腫瘍用薬	1,186	1,136	1,156	1,143	1,187	1,305	1,459	▲ 4.2	1.8	▲ 1.1	3.9	9.9	11.8	
44 アレルギー用薬	129	120	123	113	112	103	104	▲ 7.1	2.5	▲ 8.5	▲ 0.6	▲ 7.7	0.9	
52 漢方製剤	95	90	89	86	85	84	84	▲ 5.2	▲ 1.1	▲ 4.1	▲ 0.7	▲ 0.8	▲ 0.5	
61 抗生物質製剤	202	187	187	169	169	154	149	▲ 7.4	0.2	▲ 9.4	▲ 0.4	▲ 8.8	▲ 3.0	
613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの	215	198	199	182	179	166	162	▲ 8.0	0.4	▲ 8.2	▲ 2.0	▲ 7.2	▲ 2.6	
614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	193	178	178	157	149	127	125	▲ 7.6	0.1	▲ 11.9	▲ 4.9	▲ 14.9	▲ 1.8	
62 化学療法剤	531	511	510	482	489	584	1,451	▲ 3.8	▲ 0.2	▲ 5.6	1.5	19.4	148.5	
624 合成抗菌剤	480	445	458	433	433	411	375	▲ 7.4	3.0	▲ 5.6	0.2	▲ 5.1	▲ 8.9	
625 抗ウイルス剤	1,139	1,280	1,234	1,223	1,254	1,653	5,052	12.4	▲ 3.6	▲ 0.9	2.5	31.8	205.5	

注)表示していない項目(薬効)がある。

## 10-1. 薬効分類別の状況(6)(後発医薬品処方せん1枚当たり薬剤料)

後発医薬品の内服薬について、処方せん1枚当たり薬剤料を薬効大分類別にみると、循環器官用薬が265円と最も高く、次いで消化器官用薬が160円となっている。伸び率は、化学療法剤が+32.9%で最も高く、ビタミン剤が▲2.8%で最も低い。

表10-1 内服薬 薬効分類別処方せん1枚当たり後発医薬品薬剤料

	実数(円)							対前年度比(%)						
	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	
内服薬 総数	354	414	477	564	679	794	924	16.9	15.2	18.0	20.6	16.8	16.4	
11 中枢神経系用薬	21	23	30	54	74	88	101	13.6	26.7	83.5	36.5	18.9	14.1	
112 催眠鎮静剤、抗不安剤	5	5	6	9	13	15	17	14.3	11.1	54.9	38.5	21.0	10.8	
114 解熱鎮痛消炎剤	5	6	7	8	9	12	13	16.8	12.0	15.5	14.3	25.9	8.5	
116 抗パーキンソン剤	2	2	2	2	3	3	3	2.7	6.1	4.8	19.0	21.5	11.3	
117 精神神経用剤	6	7	8	13	20	22	26	18.7	20.6	59.5	49.5	12.3	15.4	
119 その他中枢神経系用薬	0	0	3	19	26	31	37	14.5	1292.9	441.5	42.3	19.3	17.7	
21 循環器官用薬	88	105	120	147	177	219	265	19.8	14.1	22.1	20.6	23.9	20.9	
212 不整脈用剤	5	5	7	8	9	11	13	15.4	22.7	14.5	19.2	18.8	16.0	
214 血圧降下剤	11	13	15	20	27	53	81	17.2	12.3	33.7	37.4	95.7	53.0	
217 血管拡張剤	37	50	56	60	70	73	79	33.6	13.9	7.1	15.2	4.2	9.1	
218 高脂血症用剤	23	23	28	45	56	67	74	3.0	19.8	60.2	24.8	18.4	11.9	
22 呼吸器官用薬	10	9	10	12	13	17	19	▲ 15.0	10.5	20.7	10.1	32.8	12.4	
23 消化器官用薬	59	76	95	111	130	146	160	28.2	25.7	17.3	16.8	12.4	9.0	
232 消化性潰瘍用剤	34	49	65	79	92	102	112	42.5	34.5	20.0	16.8	11.4	9.3	
239 その他の消化器官用薬	1	2	2	3	6	8	11	32.1	18.7	50.2	106.8	45.7	28.4	
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	7	9	10	11	12	12	16	21.7	12.1	9.7	11.4	1.8	30.7	
31 ビタミン剤	49	46	46	41	40	38	37	▲ 6.7	0.6	▲ 11.4	▲ 1.2	▲ 5.5	▲ 2.8	
32 滋養強壮薬	2	2	3	3	3	3	4	18.1	11.4	6.5	9.5	16.2	13.0	
325 蛋白アミノ酸製剤	1	1	1	1	2	2	2	12.3	12.7	0.2	9.7	4.7	11.4	
33 血液・体液用薬	27	34	39	43	51	60	80	25.3	13.5	11.4	17.0	18.5	32.4	
39 その他の代謝性医薬品	38	42	49	55	65	73	85	11.2	14.8	12.0	19.1	12.3	15.7	
396 糖尿病用剤	17	20	23	26	28	28	33	16.2	19.9	11.0	8.3	▲ 1.7	18.3	
399 他に分類されない代謝性医薬品	10	11	13	16	24	31	38	11.2	20.7	24.3	48.0	29.7	22.1	
42 腫瘍用薬	10	15	18	20	27	28	33	50.7	23.0	10.2	33.9	3.8	19.5	
422 代謝拮抗剤	0	0	0	0	0	1	1	▲ 35.4	▲ 26.6	▲ 24.4	7586.0	47.7	▲ 5.2	
429 その他の腫瘍用薬	10	15	18	20	26	27	32	51.5	23.1	10.3	32.0	3.1	20.7	
44 アレルギー用薬	19	24	27	34	50	61	69	29.2	13.7	24.7	48.6	21.3	12.4	
52 漢方製剤	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
61 抗生物質製剤	8	11	13	15	17	23	26	33.6	14.5	20.0	15.6	30.4	13.5	
613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの	2	3	4	5	6	9	10	65.0	16.2	38.7	18.6	41.3	14.7	
614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	5	7	8	9	10	13	14	24.6	13.4	12.6	14.4	25.8	13.0	
62 化学療法剤	12	13	14	13	14	17	23	9.3	4.8	▲ 9.2	8.9	25.7	32.9	
624 合成抗菌剤	2	4	4	4	3	4	10	61.9	11.2	▲ 15.2	▲ 5.1	26.4	130.3	
625 抗ウイルス剤	2	2	2	1	2	5	6	▲ 1.3	▲ 7.3	▲ 24.4	60.7	149.6	13.1	

注)表示していない項目(薬効)があるので、内訳を足し上げても総数と一致しない。

## 10-2. 薬効分類別の状況(7)(後発医薬品割合(薬剤料ベース))

内服薬の薬剤料ベースでみた後発医薬品割合を薬効大分類別にみると、呼吸器官用薬の33.1%が最も高く、次いでビタミン剤の32.4%となっている。対前年度差は、血液・体液用薬が+3.9%で最も高く、化学療法剤が▲3.7%で最も低い。

表10-2 内服薬 後発医薬品割合(薬剤料ベース)

	実数(%)							対前年度差(%)						
	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	
内服薬 総数	7.0	8.4	9.0	10.9	12.3	14.4	15.2	1.4	0.6	1.8	1.4	2.1	0.9	
11 中枢神経系用薬	3.1	3.4	3.7	6.7	8.3	9.6	10.4	0.3	0.3	2.9	1.6	1.3	0.8	
112 催眠鎮静剤、抗不安剤	5.2	6.2	6.7	11.0	15.2	20.8	23.6	1.0	0.5	4.3	4.2	5.6	2.7	
114 解熱鎮痛消炎剤	6.0	7.2	7.4	8.3	8.6	10.2	10.7	1.2	0.1	1.0	0.3	1.6	0.5	
116 抗パーキンソン剤	2.9	2.9	2.9	3.0	3.4	3.9	4.1	0.1	▲0.0	0.1	0.3	0.5	0.2	
117 精神神経用剤	2.4	2.8	3.0	4.7	6.6	7.3	8.1	0.4	0.2	1.7	1.9	0.7	0.8	
119 その他中枢神経系用薬	0.2	0.2	1.6	8.2	10.0	11.4	12.5	▲0.0	1.4	6.6	1.9	1.4	1.1	
21 循環器官用薬	5.9	7.5	8.2	10.6	12.2	16.3	19.7	1.6	0.7	2.4	1.6	4.0	3.4	
212 不整脈用剤	5.6	7.1	8.7	10.9	12.9	16.9	20.4	1.6	1.5	2.3	2.0	4.0	3.4	
214 血圧降下剤	1.6	2.0	2.1	3.0	3.9	8.4	13.3	0.4	0.1	0.9	0.9	4.4	5.0	
217 血管拡張剤	13.2	21.0	24.9	30.9	36.1	44.0	49.9	7.8	3.9	6.0	5.1	8.0	5.9	
218 高脂血症用剤	6.5	6.9	7.8	13.4	15.8	19.8	21.3	0.4	0.9	5.6	2.3	4.1	1.5	
22 呼吸器官用薬	14.4	12.8	14.0	18.5	20.7	29.8	33.1	▲1.5	1.2	4.5	2.3	9.0	3.3	
23 消化器官用薬	11.1	15.4	18.4	23.0	25.1	29.6	31.5	4.3	3.0	4.6	2.1	4.5	1.9	
232 消化性潰瘍用剤	8.7	13.5	17.3	22.7	24.8	29.9	31.9	4.9	3.8	5.5	2.0	5.1	2.0	
239 その他の消化器官用薬	1.8	2.4	2.6	3.9	7.7	11.4	14.8	0.6	0.2	1.3	3.8	3.7	3.3	
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	4.8	6.0	6.4	7.1	7.5	7.5	9.4	1.3	0.4	0.7	0.4	▲0.0	1.9	
31 ビタミン剤	45.0	46.5	46.2	41.6	37.7	34.8	32.4	1.5	▲0.4	▲4.5	▲3.9	▲3.0	▲2.3	
32 滋養強壮薬	2.8	3.5	3.9	4.4	4.7	5.5	6.2	0.7	0.4	0.5	0.3	0.9	0.7	
325 蛋白アミノ酸製剤	1.9	2.3	2.6	2.7	2.9	3.2	3.5	0.3	0.3	0.1	0.2	0.3	0.4	
33 血液・体液用薬	8.7	11.1	11.4	12.4	13.0	14.6	18.4	2.4	0.3	1.0	0.5	1.6	3.9	
39 その他の代謝性医薬品	7.1	8.0	8.1	8.7	9.1	10.1	10.9	0.9	0.2	0.5	0.5	0.9	0.8	
396 糖尿病用剤	8.2	9.3	9.0	9.1	8.3	7.9	8.6	1.1	▲0.3	0.1	▲0.8	▲0.4	0.7	
399 他に分類されない代謝性医薬品	4.0	4.4	4.9	6.1	8.3	10.6	12.3	0.5	0.5	1.1	2.2	2.3	1.7	
42 腫瘍用薬	3.8	5.8	6.9	7.6	9.5	9.1	9.6	2.0	1.1	0.7	1.9	▲0.4	0.5	
422 代謝拮抗剤	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	1.3	1.2	▲0.0	▲0.0	▲0.0	0.7	0.5	▲0.0	
429 その他の腫瘍用薬	5.4	8.2	9.4	10.2	12.3	11.1	11.4	2.8	1.2	0.8	2.1	▲1.2	0.3	
44 アレルギー用薬	5.2	6.7	7.3	9.5	14.3	17.9	19.6	1.5	0.6	2.2	4.8	3.6	1.7	
52 漢方製剤	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
61 抗生物質製剤	5.6	7.8	9.0	12.1	14.2	20.4	23.8	2.2	1.2	3.1	2.1	6.2	3.4	
613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの	3.0	5.1	6.1	9.4	11.5	17.5	20.5	2.2	1.0	3.3	2.1	6.0	3.0	
614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	8.2	10.5	11.9	15.6	19.3	29.0	33.0	2.4	1.3	3.7	3.7	9.7	4.0	
62 化学療法剤	6.2	7.3	7.5	7.0	7.4	7.6	4.0	1.1	0.1	▲0.4	0.4	0.2	▲3.7	
624 合成抗菌剤	4.5	7.2	7.3	6.2	6.0	8.1	19.7	2.8	0.1	▲1.1	▲0.2	2.0	11.6	
625 抗ウイルス剤	2.0	2.1	1.9	1.5	2.2	3.6	1.2	0.1	▲0.2	▲0.4	0.7	1.5	▲2.4	

注)表示していない項目(薬効)がある。

## 11. 都道府県別の状況(1)(調剤医療費の内訳)

調剤医療費の内訳を都道府県別にみると、処方せん1枚当たり調剤医療費が最も高い京都府では、技術料の割合が20.0%、薬剤料の割合が79.7%となっていた。一方、最も低い福岡県では技術料の割合が25.9%、薬剤料の割合が74.0%となっていた。

薬剤料全体の伸び率が+11.3%(最高:和歌山県+26.3%、最低:新潟県+5.2%)であるのに対し、後発医薬品の伸び率は+18.2%(最高:愛媛県+30.5%、最低:岩手県+13.7%)であった。

表11-1 都道府県別 調剤医療費の報酬別内訳

平成27年度

	総 額 (単位:億円)								処方せん1枚当たり (単位:円)				
	調剤医療費								調剤医療費				
	技術料	構成割合 (%)	薬剤料	後発医薬品	構成割合 (%)	特定保険医療材料料	構成割合 (%)	技術料	薬剤料	後発医薬品	特定保険医療材料料		
全 国	78,192	18,283	23.4	59,783	8,502	76.5	126	0.2	9,546	2,232	7,299	1,038	15
北海道	3,957	834	21.1	3,117	486	78.8	6	0.1	11,177	2,355	8,806	1,374	16
青 森	1,001	232	23.2	767	121	76.6	2	0.2	9,807	2,272	7,514	1,185	21
岩 手	879	198	22.5	680	120	77.4	1	0.2	10,292	2,315	7,961	1,402	16
宮 城	1,529	365	23.8	1,162	178	76.0	2	0.2	9,341	2,227	7,099	1,090	14
秋 田	880	185	21.0	693	100	78.8	2	0.2	11,124	2,338	8,764	1,264	22
山 形	744	180	24.1	563	94	75.6	2	0.2	9,537	2,301	7,214	1,204	22
福 島	1,301	293	22.5	1,006	144	77.4	2	0.1	10,306	2,319	7,974	1,143	13
茨 城	1,820	387	21.3	1,430	196	78.6	3	0.1	10,666	2,271	8,380	1,147	15
栃 木	1,063	252	23.7	810	117	76.2	1	0.1	9,287	2,198	7,077	1,026	12
群 馬	1,037	234	22.6	801	119	77.3	2	0.2	9,956	2,246	7,692	1,141	17
埼 玉	3,919	929	23.7	2,984	446	76.1	6	0.1	9,221	2,187	7,020	1,050	14
千 葉	3,535	805	22.8	2,724	394	77.1	6	0.2	9,664	2,201	7,447	1,078	17
東 京	9,026	2,122	23.5	6,890	896	76.3	14	0.2	9,114	2,143	6,957	905	14
神奈川	5,664	1,344	23.7	4,312	589	76.1	8	0.1	9,102	2,160	6,930	947	13
新 潟	1,455	353	24.3	1,100	176	75.6	2	0.2	9,413	2,284	7,113	1,140	15
富 山	569	124	21.8	444	66	78.0	1	0.2	10,720	2,339	8,361	1,251	21
石 川	671	140	20.9	530	74	78.9	1	0.2	11,634	2,430	9,183	1,289	21
福 井	370	77	20.8	292	44	78.9	1	0.3	11,375	2,366	8,975	1,348	34
山 梨	547	118	21.6	428	55	78.2	1	0.2	10,316	2,228	8,067	1,033	22
長 野	1,318	291	22.1	1,025	166	77.8	2	0.2	10,830	2,390	8,422	1,368	18
岐 阜	1,176	288	24.5	886	129	75.3	2	0.1	9,163	2,247	6,903	1,007	14
静 岡	2,194	533	24.3	1,657	246	75.5	4	0.2	9,142	2,222	6,906	1,026	15
愛 知	3,858	938	24.3	2,915	408	75.6	5	0.1	9,059	2,202	6,844	958	13
三 重	981	236	24.1	743	108	75.7	1	0.2	9,211	2,221	6,976	1,016	14
滋 賀	777	173	22.3	602	83	77.4	3	0.3	10,123	2,254	7,836	1,083	33
京 都	1,471	294	20.0	1,173	139	79.7	4	0.3	11,690	2,337	9,321	1,105	32
大 阪	5,336	1,229	23.0	4,098	531	76.8	10	0.2	9,814	2,260	7,535	977	18
兵 庫	3,467	835	24.1	2,628	358	75.8	5	0.1	9,275	2,233	7,029	958	13
奈 良	651	164	25.2	487	77	74.7	1	0.1	9,027	2,275	6,742	1,064	10
和歌山	553	116	21.0	436	51	78.8	1	0.2	10,755	2,258	8,474	988	23
鳥 取	379	85	22.5	293	39	77.3	1	0.2	10,392	2,341	8,032	1,078	19
島 根	479	118	24.6	360	58	75.2	1	0.2	9,804	2,410	7,373	1,189	21
岡 山	1,048	258	24.6	789	115	75.3	2	0.2	9,168	2,253	6,900	1,010	15
広 島	1,968	473	24.0	1,492	192	75.8	3	0.2	9,306	2,237	7,054	908	15
山 口	996	243	24.4	752	110	75.5	1	0.1	9,288	2,266	7,010	1,028	12
徳 島	434	97	22.4	336	37	77.4	1	0.2	10,116	2,267	7,830	866	18
香 川	678	150	22.1	527	65	77.6	2	0.3	10,248	2,263	7,957	987	28
愛 媛	783	174	22.2	608	80	77.6	1	0.2	9,992	2,220	7,754	1,019	17
高 知	519	109	21.0	409	54	78.9	1	0.1	11,219	2,361	8,847	1,168	12
福 岡	3,226	835	25.9	2,387	332	74.0	4	0.1	8,400	2,174	6,214	865	11
佐 賀	615	157	25.6	457	61	74.3	1	0.1	8,561	2,192	6,360	848	9
長 崎	968	238	24.6	729	110	75.2	2	0.2	9,200	2,263	6,922	1,044	15
熊 本	1,082	271	25.1	809	125	74.8	2	0.2	8,798	2,204	6,579	1,016	15
大 分	813	186	22.8	627	88	77.1	1	0.1	10,039	2,292	7,738	1,086	8
宮 崎	734	181	24.6	552	88	75.2	1	0.1	8,998	2,218	6,769	1,082	11
鹿 児 島	1,008	265	26.3	742	136	73.6	1	0.1	8,632	2,272	6,351	1,162	9
沖 縄	713	174	24.4	537	97	75.3	2	0.3	9,204	2,242	6,933	1,250	28

表11-2 都道府県別 調剤医療費の報酬別内訳 (対前年度比)

	総 額								処方せん1枚当たり				
	調剤医療費								調剤医療費				
	技術料	構成割合	薬剤料	後発医薬品	構成割合	特定保険 医療材料 料	構成割合	技術料	薬剤料	後発医薬品	特定保険 医療材料 料		
全 国	9.3	3.4	▲ 1.3	11.3	18.2	1.4	3.8	▲ 0.0	7.3	1.4	9.2	15.9	1.8
北海道	7.2	3.0	▲ 0.9	8.4	18.3	0.9	4.2	▲ 0.0	5.6	1.4	6.8	16.5	2.6
青森	8.7	2.6	▲ 1.4	10.7	15.6	1.4	▲ 2.8	▲ 0.0	7.5	1.6	9.5	14.4	▲ 3.8
岩手	5.5	1.4	▲ 0.9	6.7	13.7	0.9	▲ 2.1	▲ 0.0	5.2	1.2	6.5	13.5	▲ 2.4
宮城	7.7	3.5	▲ 1.0	9.1	17.0	1.0	3.1	▲ 0.0	5.8	1.6	7.1	14.9	1.2
秋田	5.6	1.3	▲ 0.9	6.8	18.1	0.9	7.2	0.0	6.3	2.0	7.5	18.9	7.9
山形	8.4	2.6	▲ 1.4	10.4	14.8	1.4	▲ 1.2	▲ 0.0	7.1	1.4	9.1	13.5	▲ 2.3
福島	6.8	1.9	▲ 1.1	8.4	18.9	1.1	▲ 5.0	▲ 0.0	6.3	1.4	7.8	18.3	▲ 5.5
茨城	12.3	3.9	▲ 1.7	14.8	20.3	1.7	7.3	▲ 0.0	9.2	1.0	11.6	17.0	4.4
栃木	10.5	4.0	▲ 1.5	12.7	18.8	1.5	1.6	▲ 0.0	7.9	1.5	10.1	16.1	▲ 0.7
群馬	12.3	4.6	▲ 1.7	14.8	18.7	1.7	▲ 5.3	▲ 0.0	8.9	1.5	11.3	15.1	▲ 8.1
埼玉	10.0	4.7	▲ 1.2	11.8	18.2	1.2	6.3	▲ 0.0	6.5	1.4	8.2	14.4	2.9
千葉	11.1	4.9	▲ 1.3	13.0	20.8	1.3	2.2	▲ 0.0	7.6	1.6	9.5	17.0	▲ 1.0
東京	7.8	3.4	▲ 1.0	9.3	17.5	1.0	3.5	▲ 0.0	5.8	1.5	7.2	15.3	1.6
神奈川	9.4	3.7	▲ 1.3	11.3	16.6	1.3	3.8	▲ 0.0	7.3	1.7	9.2	14.4	1.8
新潟	4.4	1.9	▲ 0.6	5.2	17.0	0.6	4.1	▲ 0.0	3.7	1.3	4.5	16.2	3.4
富山	12.7	5.4	▲ 1.5	14.9	20.1	1.5	6.9	▲ 0.0	8.6	1.6	10.8	15.8	3.1
石川	9.1	5.1	▲ 0.8	10.3	20.1	0.8	2.6	▲ 0.0	5.1	1.2	6.2	15.6	▲ 1.1
福井	9.7	4.7	▲ 1.0	11.0	19.7	1.0	15.9	0.0	6.2	1.4	7.5	15.9	12.3
山梨	8.0	2.4	▲ 1.2	9.6	18.8	1.2	▲ 1.7	▲ 0.0	6.6	1.1	8.2	17.3	▲ 2.9
長野	11.4	4.4	▲ 1.5	13.6	17.6	1.5	5.6	▲ 0.0	8.7	1.8	10.8	14.7	3.0
岐阜	7.8	3.5	▲ 1.0	9.3	17.9	1.0	6.2	▲ 0.0	5.1	0.9	6.6	15.0	3.6
静岡	6.9	2.4	▲ 1.1	8.4	17.1	1.1	5.2	▲ 0.0	6.1	1.6	7.6	16.2	4.4
愛知	9.0	4.4	▲ 1.1	10.6	19.8	1.1	2.0	▲ 0.0	6.2	1.7	7.7	16.6	▲ 0.7
三重	10.4	4.1	▲ 1.5	12.6	20.0	1.5	4.1	▲ 0.0	7.3	1.2	9.4	16.7	1.2
滋賀	10.6	4.9	▲ 1.2	12.3	23.1	1.2	14.8	0.0	7.5	2.1	9.2	19.7	11.7
京都	12.8	4.1	▲ 1.7	15.2	19.6	1.7	4.7	▲ 0.0	9.9	1.4	12.3	16.5	2.0
大阪	9.8	4.4	▲ 1.2	11.6	19.2	1.2	3.2	▲ 0.0	6.8	1.5	8.5	15.9	0.3
兵庫	9.8	3.3	▲ 1.5	12.0	17.4	1.5	3.4	▲ 0.0	8.0	1.7	10.2	15.6	1.8
奈良	9.1	4.8	▲ 1.0	10.7	15.8	1.0	2.5	▲ 0.0	6.2	2.0	7.7	12.8	▲ 0.2
和歌山	21.8	7.2	▲ 2.9	26.3	27.0	2.8	39.1	0.0	15.5	1.7	19.8	20.5	31.9
鳥取	12.6	2.8	▲ 2.2	15.8	18.4	2.2	▲ 0.2	▲ 0.0	11.0	1.3	14.2	16.8	▲ 1.6
島根	9.1	2.6	▲ 1.5	11.4	16.2	1.6	1.9	▲ 0.0	7.6	1.2	9.9	14.6	0.5
岡山	11.7	2.8	▲ 2.1	15.0	15.7	2.1	5.5	▲ 0.0	9.9	1.1	13.1	13.9	3.8
広島	10.0	2.0	▲ 1.9	12.8	17.6	1.9	6.3	▲ 0.0	9.3	1.4	12.1	16.8	5.6
山口	8.5	1.1	▲ 1.8	11.1	16.1	1.8	▲ 0.0	▲ 0.0	8.6	1.2	11.2	16.3	0.1
徳島	11.4	3.1	▲ 1.8	14.1	20.1	1.8	0.3	▲ 0.0	9.0	0.9	11.6	17.5	▲ 1.9
香川	13.2	4.0	▲ 1.9	16.1	19.9	2.0	▲ 1.0	▲ 0.0	9.8	0.9	12.6	16.3	▲ 4.0
愛媛	17.7	5.8	▲ 2.5	21.7	30.5	2.5	12.8	▲ 0.0	13.3	1.8	17.1	25.6	8.6
高知	7.4	1.5	▲ 1.2	9.1	14.4	1.2	▲ 7.4	▲ 0.0	6.5	0.6	8.2	13.4	▲ 8.2
福岡	9.3	2.3	▲ 1.8	12.1	18.7	1.8	5.9	▲ 0.0	8.2	1.2	10.9	17.5	4.9
佐賀	13.6	1.9	▲ 2.9	18.2	18.0	2.9	▲ 0.9	▲ 0.0	12.9	1.3	17.5	17.3	▲ 1.4
長崎	7.4	1.8	▲ 1.3	9.4	17.8	1.3	7.8	0.0	6.8	1.3	8.8	17.1	7.2
熊本	10.1	2.0	▲ 2.0	13.2	16.0	2.0	▲ 8.5	▲ 0.0	9.3	1.2	12.4	15.2	▲ 9.2
大分	12.3	2.3	▲ 2.2	15.7	17.5	2.2	10.2	▲ 0.0	11.3	1.4	14.6	16.4	9.3
宮崎	9.8	1.7	▲ 2.0	12.7	18.1	2.0	3.6	▲ 0.0	8.9	0.9	11.9	17.2	2.8
鹿児島	7.6	0.6	▲ 1.8	10.3	15.5	1.8	▲ 2.7	▲ 0.0	7.7	0.7	10.5	15.6	▲ 2.6
沖縄	7.5	2.4	▲ 1.2	9.2	18.0	1.2	12.2	0.0	6.5	1.4	8.2	16.9	11.1

注)構成割合は対前年度差を示している。



## 12. 都道府県別の状況(2)(処方せん1枚当たり薬剤料の3要素分解)

内服薬の処方せん1枚当たり薬剤料を都道府県別にみると、京都府が7,795円と最も高く、処方せん1枚当たり薬剤種類数、1種類当たり投薬日数、1種類1日当たり薬剤料の3要素に分解すると、2.98、24.7日、106円となっており、1種類当たり投薬日数は全国で最も高かった。一方、福岡県が5,185円と最も低く、3要素に分解すると、2.92、19.2日、92円となっていた。

表12 都道府県別 内服薬 処方せん1枚当たり薬剤料の3要素分解

平成27年度

	実 額				対前年度比 (単位:%)			
	処方せん1枚当たり薬剤料 (円)				処方せん1枚当たり薬剤料			
	処方せん1枚当たり薬剤種類数	1種類当たり投薬日数(日)	1種類1日当たり薬剤料(円)		処方せん1枚当たり薬剤種類数	1種類当たり投薬日数	1種類1日当たり薬剤料	
全 国	6,068	2.86	22.8	93	9.8	▲ 0.8	1.9	8.6
北海道	7,369	3.16	26.7	87	7.0	▲ 0.9	1.9	5.9
青 森	6,357	2.96	24.1	89	10.6	▲ 0.7	2.3	8.8
岩 手	6,742	2.91	27.1	85	7.0	▲ 0.5	1.9	5.5
宮 城	5,871	2.85	23.6	87	7.3	▲ 0.7	1.8	6.2
秋 田	7,387	3.11	27.2	87	7.9	▲ 0.9	2.2	6.5
山 形	6,067	2.78	24.5	89	9.9	▲ 0.6	1.9	8.5
福 島	6,752	3.04	24.8	90	8.3	▲ 0.6	2.0	6.8
茨 城	7,090	2.90	25.2	97	12.6	▲ 1.0	2.2	11.4
栃 木	5,989	2.88	22.5	93	10.7	▲ 0.9	1.6	9.9
群 馬	6,452	2.91	23.2	95	12.3	▲ 0.7	2.0	10.9
埼 玉	5,829	2.76	23.2	91	8.7	▲ 0.7	1.8	7.5
千 葉	6,187	2.72	24.3	94	10.2	▲ 0.5	1.8	8.8
東 京	5,712	2.74	22.0	95	7.4	▲ 0.8	1.2	7.0
神奈川	5,720	2.64	22.9	95	9.8	▲ 0.6	1.8	8.5
新 潟	5,907	2.69	25.8	85	4.3	▲ 1.1	1.9	3.4
富 山	7,037	2.85	26.2	94	11.3	▲ 0.5	1.6	10.1
石 川	7,787	3.11	26.2	96	6.3	▲ 1.9	1.3	7.0
福 井	7,623	3.06	25.9	96	8.0	▲ 0.5	2.1	6.3
山 梨	6,810	2.81	25.6	95	8.9	▲ 0.7	1.6	8.0
長 野	7,064	2.90	26.8	91	11.4	▲ 0.7	1.7	10.3
岐 阜	5,716	2.94	21.3	91	6.9	▲ 0.6	1.4	6.0
静 岡	5,689	2.73	23.1	90	8.1	▲ 0.3	1.8	6.4
愛 知	5,624	2.82	21.0	95	8.1	▲ 0.5	1.5	7.0
三 重	5,864	2.84	22.3	93	9.8	▲ 0.9	1.8	8.9
滋 賀	6,484	2.79	24.3	96	10.3	▲ 0.8	2.0	9.0
京 都	7,795	2.98	24.7	106	13.9	▲ 0.9	1.6	13.1
大 阪	6,203	3.00	21.2	98	8.8	▲ 0.9	1.7	7.9
兵 庫	5,754	2.78	21.7	95	10.8	▲ 0.7	1.7	9.8
奈 良	5,553	2.78	23.1	86	8.1	▲ 0.8	0.9	7.9
和歌山	7,145	2.95	23.5	103	22.1	▲ 0.5	4.0	18.0
鳥 取	6,872	2.94	23.1	102	16.2	▲ 0.8	1.5	15.4
島 根	6,310	3.09	23.0	89	10.2	▲ 1.0	1.8	9.4
岡 山	5,853	2.98	21.2	93	14.8	▲ 1.0	2.3	13.2
広 島	5,889	2.93	20.2	99	13.0	▲ 1.0	3.0	10.8
山 口	5,878	2.81	21.8	96	12.3	▲ 0.9	2.7	10.3
徳 島	6,653	3.06	21.6	101	12.7	▲ 0.7	2.0	11.4
香 川	6,666	2.88	22.0	105	13.6	▲ 2.0	2.4	13.3
愛 媛	6,477	2.79	23.1	101	18.8	▲ 0.4	3.4	15.4
高 知	7,550	3.12	25.5	95	8.6	▲ 1.1	2.0	7.6
福 岡	5,185	2.92	19.2	92	11.8	▲ 0.9	2.9	9.7
佐 賀	5,401	2.91	18.6	100	19.9	▲ 0.8	2.7	17.6
長 崎	5,737	3.06	21.5	87	9.0	▲ 0.5	2.6	6.7
熊 本	5,514	3.11	20.1	88	13.8	▲ 0.9	3.0	11.5
大 分	6,584	3.16	21.8	96	16.3	▲ 0.7	2.8	13.9
宮 崎	5,571	2.90	21.6	89	13.4	▲ 0.8	2.3	11.7
鹿 児 島	5,265	2.95	21.2	84	11.3	▲ 0.7	2.8	9.0
沖 縄	5,614	2.77	23.9	85	8.8	▲ 0.6	3.5	5.7

### 13. 都道府県別の状況(3)(後発医薬品割合)

平成27年度末における後発医薬品割合を都道府県別にみると、数量ベース(新指標)が最も高かったのは沖縄県の75.2%であった。また、薬剤料ベースが最も高かったのは鹿児島県の18.9%であった。一方、数量ベース(新指標)、薬剤料ベースが最も低かったのは徳島県であり、それぞれ53.3%、11.6%であった。

対前年差をみると、数量ベース(新指標)が最も高かったのは愛媛県の+6.5%、薬剤料ベースが最も高かったのは新潟県の+2.1%であった。一方、数量ベース(新指標)が最も低かったのは沖縄県の+3.4%、薬剤料ベースが最も低かったのは鳥取県の▲0.4%であった。

平成28年3月

表13 都道府県別 後発医薬品割合

(単位:%)

	後発医薬品割合			後発医薬品 調剤率	対前年差			
	数量ベース (新指標)	数量ベース (旧指標)	薬剤料ベース		数量ベース (新指標)	数量ベース (旧指標)	薬剤料ベース	後発医薬品 調剤率
全 国	63.1	42.5	14.8	65.0	4.7	4.3	0.8	3.5
北海道	64.5	43.9	15.9	68.6	4.9	4.5	1.0	3.4
青 森	65.4	44.6	16.0	69.0	4.2	3.8	0.5	3.1
岩 手	69.1	46.3	18.5	70.4	4.4	4.3	1.6	3.4
宮 城	64.9	43.0	15.9	67.2	4.3	3.9	1.0	3.4
秋 田	61.6	41.5	15.5	65.6	5.4	4.6	1.7	4.2
山 形	68.6	46.7	16.9	69.2	3.7	3.5	0.5	3.0
福 島	61.0	41.4	15.0	67.0	5.1	4.5	1.2	3.7
茨 城	61.8	41.8	13.9	63.4	5.2	4.5	0.2	4.3
栃 木	62.3	42.1	15.1	65.8	5.6	4.9	0.6	4.3
群 馬	66.4	44.7	14.9	66.6	4.1	3.9	0.0	3.4
埼 玉	64.1	43.5	15.4	65.1	4.3	4.1	0.6	3.3
千 葉	64.0	43.3	14.8	64.8	4.7	4.6	0.5	3.9
東 京	59.1	38.6	13.4	59.0	4.1	3.7	0.6	3.3
神奈川	62.1	41.3	14.2	60.7	4.1	3.8	0.5	3.2
新 潟	64.3	43.6	17.1	67.4	5.7	5.2	2.1	4.2
富 山	66.2	44.8	15.5	68.4	3.8	4.0	0.6	2.8
石 川	65.3	43.6	14.7	67.0	4.5	4.4	1.3	3.4
福 井	67.2	45.5	15.9	68.8	5.4	5.0	1.8	4.5
山 梨	55.3	36.5	13.2	56.9	4.8	4.3	1.0	4.0
長 野	67.7	45.8	16.5	67.3	4.2	4.2	0.2	3.4
岐 阜	62.0	41.7	15.4	66.5	4.9	4.3	1.0	4.2
静 岡	64.8	44.0	15.7	66.4	5.7	5.1	1.4	4.5
愛 知	63.4	42.3	14.7	66.8	5.5	4.9	1.0	4.2
三 重	64.2	43.6	15.7	66.8	4.8	4.4	1.1	3.0
滋 賀	62.8	42.9	14.5	65.7	5.9	5.2	0.7	4.3
京 都	60.0	40.4	12.0	62.0	4.6	4.2	0.0	3.6
大 阪	60.2	40.8	13.7	63.0	4.9	4.3	1.0	3.4
兵 庫	62.7	42.6	13.7	63.9	4.6	4.2	0.1	3.4
奈 良	64.0	44.4	16.4	64.4	4.5	4.2	0.7	2.8
和歌山	59.8	39.8	13.1	61.7	6.1	5.0	1.6	3.9
鳥 取	65.8	44.5	13.4	66.1	5.5	4.8	▲ 0.4	4.3
島 根	67.4	46.6	16.5	69.3	4.5	4.3	0.3	3.0
岡 山	65.4	44.4	15.3	67.1	4.2	3.7	0.3	2.8
広 島	61.2	40.7	13.8	64.6	4.8	4.1	1.0	3.2
山 口	65.9	45.0	15.6	68.9	4.9	4.4	1.0	3.2
徳 島	53.3	35.9	11.6	58.5	4.4	3.5	0.6	3.3
香 川	60.9	41.1	13.5	64.5	5.5	4.4	1.0	3.2
愛 媛	63.0	43.2	13.3	65.7	6.5	5.9	0.5	3.6
高 知	57.3	38.9	13.9	62.2	3.9	3.5	0.8	3.1
福 岡	63.9	43.2	14.7	67.4	4.9	4.6	1.1	3.3
佐 賀	64.6	43.5	13.9	68.3	4.6	4.3	▲ 0.0	3.2
長 崎	63.8	43.5	16.1	67.5	4.4	4.2	1.5	3.5
熊 本	65.5	45.3	16.0	71.3	4.2	3.8	0.4	2.7
大 分	62.2	42.9	14.7	67.4	4.7	4.4	0.5	3.6
宮 崎	68.0	47.1	16.8	71.6	5.6	5.1	1.0	3.8
鹿児島	72.0	50.7	18.9	74.5	4.6	4.3	0.9	2.9
沖 縄	75.2	53.7	18.5	76.7	3.4	4.0	1.6	2.8

#### 14. 処方せん発行元医療機関別分析

調剤医療費を処方せん発行元医療機関別にみると、病院の3兆2,954億円に比べ、診療所が4兆4,983億円と高く、中でも内科が2兆4,069億円と最も高かった。また、処方せん1枚当たり調剤医療費は、診療所の7.222円に比べ、病院が17,516円と高く、中でも大学病院が28,924円と最も高かった。また、処方せん1枚当たり調剤医療費の対前年度比は、病院が+12.9%であった一方、診療所は+4.1%と低かった。

平成27年度末の後発医薬品割合をみると、数量ベース(新指標)が最も高かったのは医科では産婦人科の67.0%であり、最も低かったのは大学病院の53.9%であった。対前年度同期差でみると、伸び幅が最も大きかったのは医科では大学病院の6.3%であり、最も小さかったのは眼科の3.6%であった。

表14-1 調剤医療費の内訳（総額）

平成27年度

	実数	総額																					
		医科	病院										診療所									歯科	
			大学病院	公的病院	法人病院	個人病院	200床未満	200床以上	内科	小児科	外科	整形外科	皮膚科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	その他	病院	診療所				
調剤医療費(億円)	78,192	77,937	32,954	5,321	13,735	13,684	215	10,218	22,736	44,983	24,069	1,866	1,925	3,143	2,255	347	1,888	2,769	6,719	167	72	96	
処方せん枚数(受付回数)(万枚)	81,912	81,102	18,814	1,840	6,642	10,132	200	8,146	10,668	62,288	26,450	4,424	2,412	5,471	4,927	629	4,720	6,170	7,083	699	194	504	
対前年度比(%)																							
調剤医療費(億円)	9.3	9.4	13.3	16.4	16.2	9.6	4.6	4.5	20.8	6.8	7.3	5.9	3.4	6.4	9.1	6.5	5.8	4.2	6.9	▲ 1.5	▲ 1.1	▲ 1.8	
処方せん枚数(受付回数)(万枚)	1.9	2.0	0.3	▲ 1.0	0.1	0.8	▲ 3.5	0.0	0.0	2.6	2.6	3.3	▲ 0.2	2.3	3.9	2.7	1.8	1.9	3.5	▲ 1.7	1.1	▲ 2.7	

注) 「調剤医療費」とは、調剤報酬明細書に記録された「点数」に10を乗じたものである。

表14-2 後発医薬品割合

平成28年3月  
(単位:%)

	実数	総額																					
		医科	病院										診療所									歯科	
			大学病院	公的病院	法人病院	個人病院	200床未満	200床以上	内科	小児科	外科	整形外科	皮膚科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	その他	病院	診療所				
数量ベース(新指標)	63.1	63.1	63.1	53.9	64.2	64.2	63.5	63.1	63.1	63.1	63.9	60.5	63.9	59.9	61.4	67.0	66.7	67.0	60.3	68.7	73.5	64.3	
薬剤料ベース	14.8	14.7	11.9	7.2	11.1	14.9	16.5	16.1	10.3	17.3	17.5	13.1	19.0	17.6	18.7	12.9	16.4	20.7	15.2	25.8	19.7	35.6	
対前年度差																							
数量ベース(新指標)	4.7	4.7	5.3	6.3	5.8	4.7	4.3	4.7	5.7	4.4	4.3	5.5	4.2	4.4	4.6	3.7	3.6	5.0	4.3	5.3	5.6	4.9	
薬剤料ベース	0.8	0.8	0.2	0.1	▲ 0.2	0.8	1.4	1.3	▲ 0.1	1.5	1.5	0.5	2.0	1.6	1.1	2.0	0.6	1.3	2.3	2.5	1.7	4.3	

注1) 「数量」とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えた数量をいう。

注2) 新指標は、〔後発医薬品の数量〕/〔(後発医薬品のある先発医薬品の数量)+(後発医薬品の数量)〕で算出している。

表14-3 処方せん1枚当たり調剤医療費の内訳と構成割合

平成27年度

	総数																					
	医科																			歯科		
	病院	診療所								内科	小児科	外科	整形外科	皮膚科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	その他	病院	診療所		
		大学病院	公的病院	法人病院	個人病院	200床未満	200床以上															
調剤医療費	9,546	9,610	17,516	28,924	20,678	13,505	10,769	12,544	21,312	7,222	9,100	4,218	7,982	5,745	4,576	5,518	4,001	4,488	9,486	2,396	3,693	1,896
技術料	2,232	2,240	2,520	2,471	2,534	2,521	2,419	2,513	2,525	2,155	2,435	1,948	2,316	1,826	1,824	1,873	1,290	1,883	2,505	1,363	1,459	1,327
構成割合(%)	23.4	23.3	14.4	8.5	12.3	18.7	22.5	20.0	11.8	29.8	26.8	46.2	29.0	31.8	39.9	33.9	32.3	42.0	26.4	56.9	39.5	70.0
調剤技術料	1,846	1,854	2,134	2,073	2,140	2,143	2,041	2,137	2,132	1,769	2,057	1,526	1,938	1,442	1,439	1,492	904	1,488	2,116	987	1,076	953
調剤基本料	651	651	620	564	629	624	614	626	615	661	659	674	655	657	644	682	653	678	664	664	621	680
調剤料	1,029	1,035	1,282	1,330	1,274	1,279	1,234	1,278	1,285	960	1,236	568	1,150	753	553	747	245	698	1,276	317	439	271
加算料	166	168	232	179	237	240	193	233	232	148	161	284	134	32	242	64	6	112	176	6	15	2
薬学管理料	386	386	386	399	394	378	379	376	393	386	378	422	377	384	385	381	387	395	389	376	383	374
薬剤料	7,299	7,355	14,950	26,346	18,081	10,960	8,339	10,010	18,723	5,060	6,652	2,269	5,662	3,917	2,752	3,645	2,710	2,605	6,977	1,031	2,230	569
構成割合(%)	76.5	76.5	85.4	91.1	87.4	81.2	77.4	79.8	87.9	70.1	73.1	53.8	70.9	68.2	60.1	66.0	67.7	58.0	73.6	43.0	60.4	30.0
内服薬	6,075	6,122	12,778	21,718	15,520	9,468	7,124	8,590	15,975	4,112	5,810	1,607	4,908	2,840	1,348	3,214	233	2,090	6,394	870	1,886	479
屯服薬他	48	48	75	105	82	66	42	53	92	40	50	16	43	15	3	31	2	11	114	38	54	32
注射薬	300	303	939	2,886	1,143	465	308	401	1,350	111	157	89	78	326	5	40	3	2	45	15	52	0
外用薬	875	881	1,158	1,637	1,336	960	865	966	1,305	797	634	557	634	735	1,396	359	2,473	502	425	108	238	58
(再掲)後発医薬品	1,038	1,045	1,771	1,906	2,032	1,584	1,281	1,535	1,951	826	1,099	301	1,001	652	497	386	450	553	966	250	413	187
特定保険医療材料料	15	16	46	106	63	24	10	22	64	6	13	1	4	2	0	1	0	0	3	1	4	0
構成割合(%)	0.2	0.2	0.3	0.4	0.3	0.2	0.1	0.2	0.3	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
調剤医療費	7.3	7.3	12.9	17.6	16.1	8.7	8.5	7.3	15.7	4.1	4.7	2.6	3.6	3.9	4.9	3.6	4.0	2.2	3.3	0.2	▲2.1	0.9
技術料	1.4	1.4	1.7	1.7	1.7	1.6	2.1	1.6	1.8	1.4	1.2	1.1	1.3	2.4	1.3	1.4	2.0	1.8	1.2	2.5	2.4	2.5
構成割合(%)	▲1.3	▲1.3	▲1.6	▲1.3	▲1.7	▲1.3	▲1.4	▲1.1	▲1.6	▲0.8	▲0.9	▲0.7	▲0.7	▲0.5	▲1.4	▲0.7	▲0.6	▲0.2	▲0.5	1.3	1.7	1.1
調剤技術料	1.8	1.8	2.0	1.9	2.1	2.0	2.5	1.9	2.1	1.8	1.5	1.5	1.6	3.2	1.7	1.8	2.9	2.4	1.4	3.7	3.3	3.7
調剤基本料	5.0	5.0	6.5	8.0	7.0	6.0	5.0	5.6	7.3	4.5	4.3	4.0	3.9	5.2	5.2	4.3	4.3	4.3	4.8	5.9	8.0	5.3
調剤料	0.1	0.1	▲0.1	▲0.4	▲0.2	▲0.0	1.0	0.0	▲0.2	0.3	0.1	0.9	0.3	1.5	▲0.7	0.0	▲0.8	1.9	▲0.0	▲0.4	▲2.1	▲0.0
加算料	0.6	0.6	2.6	1.6	2.3	2.7	4.8	3.0	2.2	▲0.1	1.5	▲3.0	1.5	1.6	▲1.5	▲2.3	2.2	▲5.6	0.1	▲7.2	▲9.2	▲7.7
薬学管理料	▲0.3	▲0.3	▲0.2	0.2	▲0.1	▲0.3	0.1	▲0.4	▲0.0	▲0.3	▲0.5	▲0.1	▲0.4	▲0.2	▲0.3	▲0.2	▲0.1	▲0.3	▲0.2	▲0.4	▲0.2	▲0.4
薬剤料	9.2	9.2	15.1	19.4	18.5	10.5	10.5	8.9	17.9	5.3	6.0	3.8	4.5	4.7	7.5	4.8	5.0	2.5	4.0	▲2.8	▲4.9	▲2.6
構成割合(%)	1.4	1.3	1.6	1.4	1.8	1.3	1.4	1.1	1.7	0.8	0.9	0.7	0.7	0.5	1.4	0.7	0.6	0.2	0.5	▲1.3	▲1.7	▲1.1
内服薬	9.8	9.8	16.5	21.5	20.4	11.2	11.0	9.4	19.8	5.1	6.1	2.9	4.4	4.6	▲0.2	5.2	0.6	2.4	3.9	▲3.1	▲5.2	▲2.8
屯服薬他	1.2	1.2	0.9	▲1.2	2.0	0.8	3.1	2.5	0.2	1.8	0.9	3.6	1.0	1.6	▲0.5	▲10.7	▲8.9	5.2	3.1	▲0.8	▲0.3	▲1.8
注射薬	9.4	9.4	12.1	14.5	13.0	9.7	12.5	9.6	12.8	6.8	5.0	7.4	6.5	11.4	23.6	19.1	14.2	134.4	1.3	8.3	5.3	12.9
外用薬	5.5	5.5	4.6	4.9	4.8	4.5	6.0	4.6	4.6	6.2	5.1	6.0	5.4	2.2	16.2	1.5	5.4	2.8	6.0	▲2.4	▲5.0	▲1.4
(再掲)後発医薬品	15.9	15.9	20.2	26.2	21.0	18.5	15.9	18.1	21.5	13.9	15.8	11.0	14.0	10.5	7.6	14.4	5.3	9.0	16.1	11.0	9.6	10.8
特定保険医療材料料	1.8	1.8	3.0	1.3	4.5	2.9	9.9	2.6	3.2	2.4	2.3	9.7	2.7	8.8	34.9	19.3	0.5	▲0.3	▲0.0	1.4	▲1.4	9.6
構成割合(%)	▲0.0	▲0.0	▲0.0	▲0.1	▲0.0	▲0.0	0.0	▲0.0	▲0.0	▲0.0	▲0.0	0.0	▲0.0	0.0	0.0	0.0	▲0.0	▲0.0	▲0.0	0.0	0.0	0.0

注1) 「調剤基本料」には、基準調剤加算、後発医薬品調剤体制加算、夜間・休日等加算、時間外等の加算(調剤基本料に係る部分)、及び在宅患者調剤加算を含めている。

注2) 「内服薬」とは、内服薬のうち、調剤報酬明細書に記録された剤形が「内服」もしくは「一包」である薬剤をいう。

注3) 「屯服薬他」とは、内服薬のうち、調剤報酬明細書に記録された剤形が「屯服」「内滴」「浸煎」「湯」である薬剤をいう。

注4) 処方せん発行元医療機関が特定出来なかったものは掲載していないため、内訳を足し上げても総数と一致しない。

注5) 構成割合は対前年度差を示している。

## 15. 制度別分析

調剤医療費を制度別にみると、調剤医療費の総額が最も大きかったのは後期高齢者の2兆6,892億円であった。また、処方せん1枚当たり調剤医療費が最も大きかったのは公費の12,923円であり、伸び率が最も大きかったのは公費の+9.8%、最も小さかったのは共済組合の+4.2%であった。

平成27年度末の後発医薬品割合をみると、数量ベース(新指標)が最も高かったのは公費の67.9%、最も低かったのは後期高齢者の60.4%であった。対前年度同期差でみると、伸び幅が最も大きかったのは公費の5.0%、最も小さかったのは市町村国保の4.4%であった。

表15-1 調剤医療費の内訳(総額)

平成27年度

実数	調剤医療費(億円)	総数										公費
		医療保険適用計									後期高齢者	
		被用者保険計			国民健康保険計			市町村国保	国保組合			
協会一般	共済組合	健保組合										
		78,192	74,453	24,546	12,689	2,765	9,039	23,015	21,871	1,144	26,892	3,739
	処方せん枚数(受付回数)(万枚)	81,912	79,018	33,689	16,597	4,027	13,004	22,612	21,265	1,347	22,717	2,894
対前年度比(%)	調剤医療費	9.3	9.2	9.9	12.5	6.1	7.6	8.1	8.1	9.0	9.6	11.5
	処方せん枚数(受付回数)	1.9	1.9	3.4	4.8	1.8	2.1	▲ 1.0	▲ 1.1	0.5	2.8	1.5

注)「調剤医療費」とは、調剤報酬明細書に記録された「点数」に10を乗じたものである。

表15-2 後発医薬品割合

平成28年3月  
(単位:%)

実数	数量ベース(新指標)	総数										公費
		医療保険適用計									後期高齢者	
		被用者保険計			国民健康保険計			市町村国保	国保組合			
協会一般	共済組合	健保組合										
		63.1	62.8	64.6	65.0	63.7	64.4	64.1	64.1	62.6	60.4	67.9
	薬剤料ベース	14.8	14.7	14.3	14.4	14.0	14.3	14.2	14.3	13.3	15.5	15.8
対前年差	数量ベース(新指標)	4.7	4.7	4.6	4.7	4.7	4.6	4.4	4.4	4.6	5.0	5.0
	薬剤料ベース	0.8	0.8	0.5	0.4	0.7	0.6	0.4	0.4	0.2	1.4	0.7

注1)「数量」とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えた数量をいう。

注2) 新指標は、〔後発医薬品の数量〕/〔(後発医薬品のある先発医薬品の数量)+(後発医薬品の数量)〕で算出している。

表15-3 処方せん1枚当たり調剤医療費の内訳と構成割合

平成27年度

	実数(円)	総数										
		医療保険適用計										公費
		被用者保険計					国民健康保険計				後期高齢者	
			協会一般	共済組合	健保組合		市町村国保	国保組合				
調剤医療費	9,546	9,422	7,286	7,645	6,867	6,950	10,179	10,285	8,496	11,838	12,923	
技術料	2,232	2,216	1,990	2,016	1,960	1,966	2,213	2,224	2,035	2,555	2,665	
構成割合(%)	23.4	23.5	27.3	26.4	28.5	28.3	21.7	21.6	24.0	21.6	20.6	
調剤技術料	1,846	1,830	1,598	1,626	1,567	1,571	1,822	1,833	1,655	2,183	2,278	
調剤基本料	651	651	663	659	664	669	641	640	657	643	661	
調剤料	1,029	1,017	806	839	767	776	1,059	1,071	880	1,288	1,340	
加算料	166	162	129	129	136	127	122	122	118	251	277	
薬学管理料	386	386	392	390	393	395	391	392	381	372	387	
薬剤料	7,299	7,191	5,284	5,615	4,897	4,974	7,946	8,041	6,445	9,268	10,234	
構成割合(%)	76.5	76.3	72.5	73.5	71.3	71.6	78.1	78.2	75.9	78.3	79.2	
内服薬	6,075	5,981	4,184	4,510	3,782	3,885	6,753	6,847	5,261	7,878	8,647	
屯服薬他	48	46	52	52	55	51	49	48	52	33	120	
注射薬	300	298	316	332	323	294	329	328	339	242	357	
外用薬	875	866	732	721	737	743	816	817	793	1,115	1,110	
(再掲)後発医薬品	1,038	1,020	729	781	652	686	1,107	1,124	836	1,364	1,539	
特定保険医療材料料	15	15	12	14	10	10	20	20	15	15	25	
構成割合(%)	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.1	0.2	
調剤医療費	7.3	7.1	6.3	7.3	4.2	5.4	9.2	9.3	8.4	6.5	9.8	
技術料	1.4	1.4	1.4	1.4	1.3	1.5	1.5	1.5	1.3	1.4	2.0	
構成割合(%)	▲1.3	▲1.3	▲1.3	▲1.5	▲0.8	▲1.1	▲1.7	▲1.7	▲1.7	▲1.1	▲1.6	
調剤技術料	1.8	1.8	1.9	1.8	1.7	2.0	1.8	1.8	1.6	1.7	2.5	
調剤基本料	5.0	4.9	4.8	4.7	4.7	5.0	5.0	5.0	4.9	5.0	5.2	
調剤料	0.1	0.1	0.2	0.3	▲0.3	0.2	0.2	0.2	▲0.2	0.1	0.9	
加算料	0.6	0.4	▲2.3	▲2.2	▲1.9	▲2.5	0.3	0.4	▲1.5	2.2	3.7	
薬学管理料	▲0.3	▲0.3	▲0.2	▲0.2	▲0.2	▲0.3	▲0.2	▲0.1	▲0.3	▲0.4	▲0.5	
薬剤料	9.2	9.1	8.3	9.6	5.4	7.0	11.6	11.6	11.0	8.1	12.1	
構成割合(%)	1.4	1.3	1.3	1.6	0.8	1.1	1.7	1.7	1.7	1.1	1.6	
内服薬	9.8	9.6	8.8	10.4	5.5	7.1	12.5	12.5	11.7	8.5	13.5	
屯服薬他	1.2	1.2	1.7	2.1	1.0	1.4	1.8	1.8	1.8	▲0.4	0.8	
注射薬	9.4	9.4	8.8	9.3	5.8	8.9	10.2	10.1	12.5	9.9	9.3	
外用薬	5.5	5.6	5.7	5.8	5.3	5.9	6.0	6.0	6.2	5.0	4.5	
(再掲)後発医薬品	15.9	15.9	15.0	15.7	13.3	14.4	16.7	16.8	15.8	16.5	16.1	
特定保険医療材料料	1.8	1.8	0.4	▲0.3	1.6	0.7	1.8	1.9	▲1.4	4.9	3.4	
構成割合(%)	▲0.0	▲0.0	▲0.0	▲0.0	▲0.0	▲0.0	▲0.0	▲0.0	▲0.0	▲0.0	▲0.0	

注1) 「調剤基本料」には、基準調剤加算、後発医薬品調剤体制加算、夜間・休日等加算、時間外等の加算(調剤基本料に係る部分)、及び在宅患者調剤加算を含めている  
 注2) 「内服薬」とは、内用薬のうち、調剤報酬明細書に記録された剤形が「内服」もしくは「一包」である薬剤をいう。  
 注3) 「屯服薬他」とは、内用薬のうち、調剤報酬明細書に記録された剤形が「屯服」「内滴」「浸煎」「湯」である薬剤をいう。  
 注4) 構成割合は対前年度差を示している。

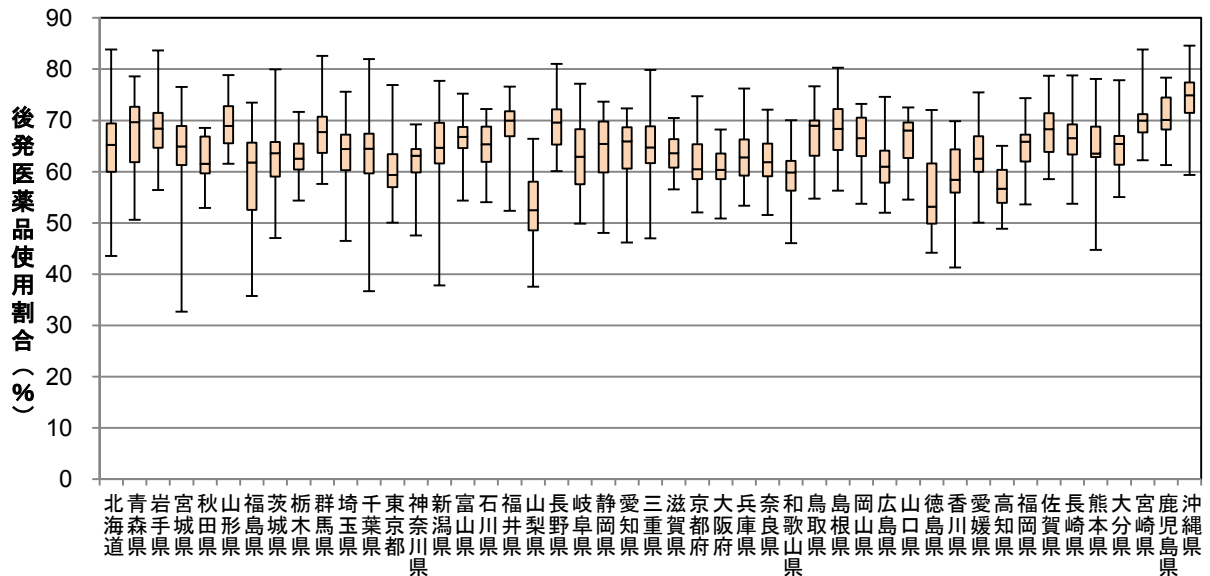


## 1.7. 後発医薬品使用割合の市町村別状況

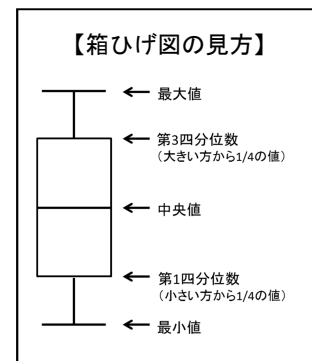
### 1. 後発医薬品割合の都道府県別分布状況

各都道府県における、市町村別にみた後発医薬品割合の分布状況を示している。  
表 13 で後発医薬品割合が最も高かった沖縄県は、中央値も最も高かった。

図 1



- (注 1) 保険請求のあった薬局の所在地を示している。(平成 28 年 3 月調剤分)
- (注 2) 各市町村において、保険請求のあった薬局が 3 軒以下の地域は除外している。
- (注 3) 長方形の下側の辺は第 1 四分位数、上側の辺は第 3 四分位数、中央の線は中央値、ひげの両端が最大値、最小値である。
- (注 4) 後発医薬品割合は数量ベース（新指標）を用いている。



この資料に関する詳細は、厚生労働省のホームページに掲載しています。

掲載場所 (URL) <http://www.mhlw.go.jp/topics/medias/year/15/gaiyou.html>



## 2. 後発医薬品割合の地域別結果

表 17 (上位 20)

順位	市町村名	割合 (%)	順位	市町村名	割合 (%)
1	沖縄県島尻郡与那原町	84.6	11	茨城県北相馬郡利根町	79.9
2	北海道砂川市	83.8	12	三重県熊野市	79.8
3	宮崎県児湯郡新富町	83.8	13	千葉県長生郡白子町	79.8
4	岩手県九戸郡軽米町	83.6	14	岩手県陸前高田市	79.4
5	群馬県吾妻郡中之条町	82.6	15	茨城県行方市	79.4
6	千葉県旭市	81.9	16	沖縄県浦添市	79.2
7	岩手県久慈市	81.3	17	山形県北村山郡大石田町	78.8
8	長野県木曾郡木曾町	81.0	18	長崎県東彼杵郡波佐見町	78.8
9	島根県鹿足郡津和野町	80.3	19	佐賀県三養基郡基山町	78.7
10	北海道赤平市	80.0	20	青森県東津軽郡外ヶ浜町	78.6

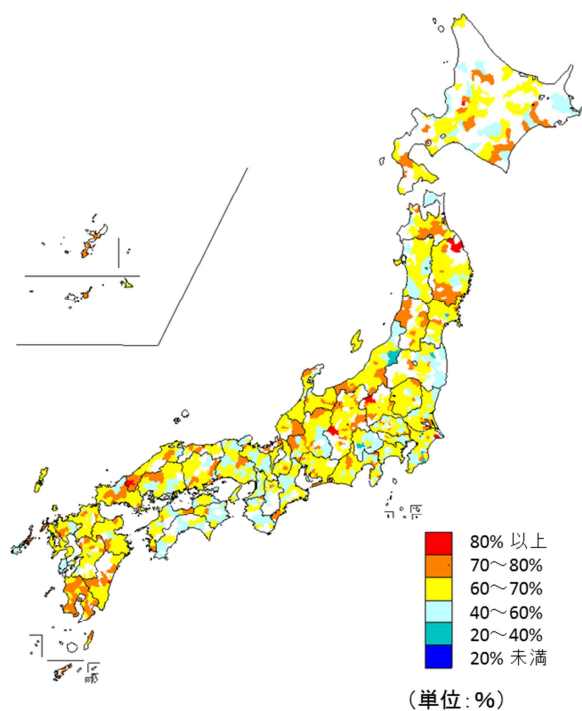
(注 1) 保険請求のあった薬局の所在地を示している。(平成 28 年 3 月調剤分)

(注 2) 各市町村において、保険請求のあった薬局が 3 軒以下の地域は除外している。

(注 3) 後発医薬品割合は数量ベース(新指標)を用いている。

## 3. 市町村別後発医薬品割合マップ

図 2



(注 1) 保険請求のあった薬局の所在地を示している。(平成 28 年 3 月調剤分)

(注 2) 空白となっている地域は、当該月において保険請求のあった薬局数が 3 軒以下の市町村である。

(注 3) 後発医薬品割合は数量ベース(新指標)を用いている。